

2025年度 授業評価アンケート報告書

関西学院大学経営戦略研究科

本報告書の概要

本報告書は、関西学院大学経営戦略研究科において 2025 年度に開講された授業についての学生及び教員による評価アンケートの結果をまとめたものである。本研究科は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いキャンパスにおける授業実施が制限されたことを契機として、「経営戦略研究科開講授業実施方針」とともに、「専門職大学院経営戦略研究科における『メディアを利用して行う授業』に関する内規」を定めこれらに基づき、2025 年度についても対面（「ハイフレックス型」を含む）とオンライン（「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型）で授業の提供を実施した。授業評価アンケートもオンラインで実施した。

授業評価アンケートを実施した授業科目は、2025 年度に開講された 385 講義である。2025 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 5,034 人（延べ人数、以下同じ）で、実際にアンケート調査を回答した者は 3,799 人であり、アンケート調査の回答率は 75.5%（春学期 74.1%、秋学期 77.1%）であった。回答率に改善の余地があることから、次年度以降も引き続き、学生への周知方法や、授業内時間の活用などについて検討を行ない、実効性のある方策を提示する。

学生による評価アンケートは、設問 1 から設問 9 が「教員の授業内容と方法」について、設問 10 と設問 11 が「学生自身の取り組み」について、設問 12 から設問 14 が「授業の満足度」についての質問となっており、いずれの設問も 5 段階評価で回答することとなっている。

今回の学生によるアンケート回答結果からは、学生の授業に対する満足度に関する評価は概ね高い水準を維持していることがわかる。設問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」のスコアは、通年で 4.64、春学期が 4.62、秋学期が 4.66 であった。設問の中で最も高いスコアだったのは、設問 3 の「教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか」で、春学期が 4.83、秋学期が 4.84、通年が 4.84 となり、5 年連続で高い水準を保っている。つまり、担当教員の授業を行うための専門知識に関して、学生から高く評価されていると考えられる。

他方、以前から継続して見られることであるが、学生自身の取り組みについての問いである設問 10 の「この授業を受けるに当たって十分な予習や復習を行いましたか」、及び設問 11 の「この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか」のスコアは、教員の授業内容や方法、授業の満足度についての設問のスコア（設問 1～9、設問 12～14）に比してやや低い傾向が続いている。授業外での課題設定を充実させる工夫が必要となろう。

また、2021 年度から追加されたオンライン授業に関する満足度を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）のスコアは、対前年比で上昇した。経営戦略研究科は、2022 年度より本格的に、授業を対面・ハイフレックス（オンライン併用型対面授業）・フルオンラインの 3 形態で実施するとともに、授業実施形態にかかわらず履修者に授業の録画を提供しているが、引き続き授業担当者の機器操作のスキルを向上させるための取組みの継続や、サポート体制の充実、さらにノウハウを教員間で共有する機会の確保が必要と考えられる。

経営戦略研究科開講科目の授業担当者による担当科目の自己評価（以下、「教員による担当科目自己評価」という。）については、各専攻の特徴を踏まえながら、コア、ベーシック、アドバンスト、課題研

究の4つの科目群に分けて考察した。

まず、企業経営戦略コースでは、グループディスカッション等のアクティブラーニングの導入や実務家をゲストスピーカーとして積極的に招聘する等の特徴が見られた。総じて、「理論と実務の架橋」、つまり授業で学んだ内容を履修者個々人が実務で応用できるようになることを意識して授業を構成していることがうかがえる。

コア科目群では、基本的な理論・フレームワークを習得させることに力点が置かれ、また、その理論やフレームワークを履修者個々人のビジネスに合わせて応用できる能力の形成を重視していることがうかがえた。ベーシック科目群では、経営分野の基礎的な概念や理論への理解を深化させ、それらを体系化できる能力形成に力点を置いた授業もみられる。アドバンスト科目群では、発展的な科目という性質から、高い分析力を要求する科目も見られる。課題研究科目群の「課題研究基礎」では、参考文献の渉猟、先行研究の分析・検討など課題研究論文の作成に向けて基礎となる部分を理解させること、「課題研究」では学生が自らのビジネスにかかわる課題や解決すべき社会的問題をテーマに設定して、科学的にアプローチして論理的・実証的に論文にまとめることができるように指導するなど、企業経営戦略コースの意図する内容となっていることが確認できた。

2025年度からは「教員による担当科目自己評価」のオンライン上での収集方法を変更した。これにより、学生の授業評価の回答結果との間で生じるギャップについての分析が、今後進んでいくものと考えられる。また、ギャップがあることを認識したうえで、そのギャップを埋めていくための教員の取り組みに関して個別に検討する必要があると思われる。

会計専門職専攻では、例年細かな達成度合いについて数量的な把握を行っている。詳細は6.を参照されたい。その中で学生の会計に関する予備知識についての不足が指摘されており、対応策が必要とされるだろう。

1. 授業評価の目的

大学・大学院において第三者評価が義務づけられ、専門職大学院を置く大学は、当該専門職大学院の教育課程、教員組織等その他教育研究活動の状況について、文部科学大臣が認証した評価機関により、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務づけられている。その目的は、教育研究等について自己点検・評価し、質の保証を行うとともに、継続的に改善・向上に取り組むためである。また、経営戦略研究科は、教員の資質維持向上の方策のひとつとして、「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施」に取り組んでいる。

本研究科では、授業内容及び授業方法の改善を図るため、原則としてクォーターごとに、学生による授業に関するアンケートと教員による担当科目自己評価を実施する。授業評価の目的は、本研究科学生の実態や現状、学生の授業に対する認識・反応などをアンケートから探り、その結果を分析することによって、教育の現場に反映させる基礎資料を作成し、ビジネススクール及びアカウンティングスクールの教育の質的向上を図るとともに、ビジネススクール及びアカウンティングスクール固有の教学上の諸課題を把握し、解明することにある。

学生によるアンケートと並行して行う教員による担当科目自己評価では、各教員は、学生の授業評価の結果を見ない段階で授業を振り返ってオンラインでアンケートの記入を行っている。このため、学生アンケートの集計結果が各教員にフィードバックされた際に、学生の評価と教員自身が作成した評価を対照することで「より良い授業へ」のヒントが得られる仕組みとなっている。

2. 本報告書の構成と作成主体

本報告書の構成は、2025 年度授業評価アンケート結果概要・分析、授業評価アンケート実施科目一覧、授業評価アンケートフォーム、授業別評定平均値一覧、集計結果表（全体・履修人数・専攻・コース・科目別）、教員による担当科目自己評価及びグループ・インタビュー調査結果からなっている。

授業評価に関する調査の企画、調査票の作成、及び集計結果についての分析と本報告書の執筆については、本研究科に設置された「経営戦略研究科内部質保証委員会」のメンバーを中心として行われた。

調査の実施の方法等についての詳細は、「3. 調査実施方法及び期間等」のとおりである。アンケート実施に当たって、貴重な授業時間を割いていただいた各教員に感謝申し上げる。また、実際に回答を寄せていただいた学生諸君に深く謝意を表する。

3. 調査実施方法及び期間等

授業内容については、春学期（第1クォーター、第2クォーター、夏季集中）・秋学期（秋季集中、第3クォーター、第4クォーター、冬季集中）の授業終了時に受講生による授業評価を実施している。本報告の対象となる授業評価アンケートの実施方法や実施期間等については、以下のとおりである。

（1）実施対象授業科目について

2025 年度に開講されたすべての授業科目を対象に授業評価アンケートを実施した。複数クラス開講分を含む実施数は、385 講義（春学期 193 講義、秋学期 192 講義）である。その内訳は、経営戦略専攻が 244 講義（企業経営戦略コース 166 講義、国際経営コース 78 講義）、会計専門職専攻が 141 講義である。

（2）回答者、回答率等について

2025 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 5,034 人（延べ人数、以下同じ）で、そのうち、春学期が 2,720 人、秋学期が 2,314 人であった。また、実際にアンケート調査を回答した者は 3,799 人（春学期 2,017 人、秋学期 1,782 人）であり、アンケート調査の回答率は 75.5%（春学期 74.2%、秋学期 77.0%）であった。各専攻別の内訳は次のとおりである。

経営戦略専攻の授業科目の履修登録者数は 2,934 人（企業経営戦略コース 2,040 人、及び国際経営コース 894 人）で、そのうち、春学期は 1,534 人（企業経営戦略コース 1,075 人、及び国際経営コース 459 人）、秋学期は 1,400 人（企業経営戦略コース 965 人、及び国際経営コース 435 人）であった。アンケート調査の回答者数については、2,312 人（企業経営戦略コース 1,686 人、及び国際経営コース 626 人）であった。そのうち、春学期は 1,185 人（企業経営戦略コース 871 人、及び国際経営コース 314 人）、秋学期は 1,127 人（企業経営戦略コース 815 人、及び国際経営コース 312 人）であった。回答率は 78.8%（企業経営戦略コース 82.6%、及び国際経営コース 70.0%）である。そのうち、春学期は 77.2%（企業経営戦略コース 81.0%、及び国際経営コース 68.4%）、秋学期は 80.5%（企業経営戦略コース 84.5%、及び国際経営コース 71.7%）であった。

また、会計専門職専攻の授業科目の履修登録者数は 2,100 人（春学期 1,186 人、秋学期 914 人）で、アンケート調査の回答者数は 1,487 人（春学期 832 人、秋学期 655 人）あり、その回答率は 70.8%（春学期 70.2%、秋学期 71.7%）であった。

研究科全体で概ね 9 割前後で推移してきた授業評価アンケートの回答率は、2020 年度以降は低下する傾向にある。これは、授業時間内に教室でマークシートの調査票を受講生に配付して回答する方法だっ

たものが、新型コロナウイルスの感染拡大により授業実施形態がオンラインに切り替わったことに伴い、授業時間外にも学生がオンラインで授業評価アンケートに回答できるように実施方法を変更したことが要因の一つとして考えられる。回答率低下の改善を図るために、2023 年度より、教員による担当科目自己評価において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問 10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加した。

（３）実施期間について

学生による授業評価アンケートは、以下の期間にオンラインで実施した。

第 1 クォーター開講科目	：	2025年 5月21日（水）～ 6月 8日（日）
第 2 クォーター開講科目	：	2025年 7月16日（水）～ 8月 3日（日）
夏季集中講義期間開講科目	：	2025年 7月30日（水）～ 8月17日（日）
秋季集中講義期間開講科目	：	2025年 9月27日（土）～10月13日（月）
第 3 クォーター開講科目	：	2025年11月16日（日）～11月30日（日）
第 4 クォーター開講科目	：	2026年 1月25日（日）～ 2月 8日（日）
冬季集中講義開講科目	：	2026年 2月 8日（日）～ 3月 1日（日）

（４）アンケートの実施について

2025 年度の学生による授業評価アンケートは、質問項目数 17（各質問につき最高ポイントを 5 とした 5 段階評価）で実施した。アンケートは、経営戦略研究科事務室から「授業に関するアンケート」のオンライン回答フォームの URL を、（３）の各期間に先立ち全履修者宛にメールにて送付し、履修者は上記の実施期間中にオンラインで回答した。このとき、履修者が忌憚なく回答できるように、授業担当者は、当該アンケートそのものは閲覧せず、後日事務室より送付の統計データを閲覧するようにした。

学生による授業評価アンケートと並行して行った教員による担当科目自己評価については、事前に経営戦略研究科事務室より電子メールにて回答用フォームの URL を各授業担当者に配付し、教員は該当科目の成績報告書提出締切日までにオンライン上で回答した。教員による担当科目自己評価は、選択形式の 10 の設問と自由記述形式の 2 つの設問からなっている。

（５）集計

2025 年度の授業評価アンケートについては、各授業科目・クラスごとに集計を行った。この「授業評価アンケート集計結果」は、各授業クラスの履修登録者数、回答者数（学年別、所属専攻別、出身学部別の回答者数）、各設問の有効回答数、有効回答数の平均値及び専攻平均値が示される。このうち、各設問の有効回答数の平均値と専攻平均値については、グラフによって視覚的にも明示している。

学生による授業評価アンケートには、自由記述に関する設問が 3 問ある（「この授業で良かったところを具体的に書いてください」、「この授業で変えてほしいところがあれば、具体的に書いてください」及び「この授業に関してほかに気づいたことがあれば書いてください」）。この自由記述の回答内容については、授業内容及び方法の改善のための資料に資する目的から、当初より、公表対象とせず、当該授業担当者の方に配付している。

4. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概観

ここでは、2025 年度の授業評価アンケートの結果を、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、同じ調査票が使用されている 2009 年度以降の結果と比較して分析する。表 4-1 から表 4-4 は、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、回答の平均値（小数点第 3 位で四捨五入）を、春学期、秋学期、通年別に示したものである。年度の一番下にある「平均」は 2009 年度から 2025 年度の数字を平均したものである。なお、2021 年度からは、オンライン授業を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）が追加されている。

表 4-1 に全科目群の平均評価を示す。設問 1 から設問 14 について、春学期は前年度 2024 年度からすべての設問が平均 0.05 ポイント上昇している。秋学期は設問 1・3・5 の 3 問が 0.01~0.03 ポイント低下したものの、残りの設問は平均 0.05 ポイント上昇しており、通年ではすべての設問が平均 0.04 ポイント上昇している。秋学期に低下した設問 1（シラバスとの整合性）、設問 3（教員の専門知識）、設問 5（発言・議論への配慮）も、いずれも低下幅は小さく、過去の数値と比べて高い水準にあり、通年では上昇に転じている。このことから、現時点では一時的な変動と考えているが、次年度以降も同じ項目で低下が続かないか、経過を見守りたい。

質問 13 の「この授業は全般的に満足 of いくものでしたか」の通年スコアは 4.57 で、もっとも高かった 2022 年度の 4.60 を 0.03 ポイント下回るものの、2023 年度の 4.46、2024 年度の 4.49 をそれぞれ 0.11 ポイント、0.08 ポイントそれぞれ上回った。科目群別の通年で見ても、コア科目群（表 4-2）が 4.41、ベーシック科目群（表 4-3）が 4.53、アドバンスト科目群（表 4-4）が 4.66 であり、いずれも前年度を 0.06~0.09 ポイント上回った。2022 年度より対面授業が再開され、ハイフレックス形式（対面受講とオンライン受講の学生が同時に受講する）の授業が多くなったことが同年度の高い数値につながった可能性があるが、2023 年度に一旦それ以前の水準に戻った後、2024 年度以降は再び上昇傾向にある。

学生の授業満足度は全体として上昇基調にあるが、2022 年度の水準には及んでいない。よって、さらなる改善のために、授業満足度が何によって規定されているかを把握する深掘りをおこなった。具体的には、設問 13 を目的変数、授業内容・方法に関する設問 1~9、ならびに履修者数、科目群を説明変数とした回帰分析をおこなった ($R^2=0.80$, $N=161$)。授業満足度と統計的に有意な関連を示したのは、効果の大きい順に、設問 2「教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか」（標準化 $\beta=0.31$ ）、設問 6「教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか」（標準化 $\beta=0.23$ ）、設問 4「指定された教科書や配布資料は、学習の助けとなりましたか」（標準化 $\beta=0.16$ ）の 3 項目であった。一方、これら以外の設問、ならびに履修者数および科目群は、満足度との有意な関連が認められなかった。

ここで注目されるのは、履修者数や科目群といった授業の外形的な条件よりも、教員の働きかけに関わる要素が満足度をより強く規定していた点である。有意であった設問 2・6・4 は、いずれも教員が授業前の準備や授業中の調整によって働きかけうるものであり、授業の規模や科目群の別そのものよりも、教員が日々重ねる準備と運営こそが学生の満足度に結びついていることがうかがえる。

もっとも、履修者数が満足度と無関係であると即断することはできない。説明変数のうち履修者数と最も強く関連していたのは設問 6（個々の学生の理解度への配慮）であり、履修者数が多い授業ほど、

個々の学生の理解度に配慮することが難しくなる傾向がみてとれる。このことを踏まえると、履修者数は満足度を直接左右するのではなく、理解度への配慮を介して間接的に影響しており、それゆえ直接の関連としては表れなかったとも考えられる。ただし、これは相関にもとづく示唆にとどまり、経路を確証するには媒介関係の検討が別途必要であるため、今後の課題としたい。

表４－１：全科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.51	4.58	4.67	4.31	4.35	4.14	4.18	4.13	4.49	3.97	3.91	4.10	4.33	4.19	—	—
2010	4.59	4.59	4.73	4.45	4.48	4.23	4.27	4.28	4.57	4.03	3.88	4.15	4.39	4.24	—	—
2011	4.54	4.59	4.73	4.36	4.51	4.15	4.12	4.17	4.51	4.04	3.88	4.07	4.32	4.26	—	—
2012	4.38	4.47	4.67	4.30	4.42	4.10	4.19	4.12	4.47	3.97	3.73	4.01	4.23	4.32	—	—
2013	4.55	4.57	4.71	4.36	4.45	4.13	4.19	4.14	4.50	3.99	3.83	4.08	4.31	4.39	—	—
2014	4.57	4.57	4.74	4.42	4.48	4.23	4.32	4.22	4.57	4.06	3.87	4.13	4.40	4.46	—	—
2015	4.59	4.62	4.74	4.46	4.54	4.29	4.35	4.32	4.60	4.02	3.86	4.16	4.44	4.51	—	—
2016	4.55	4.63	4.73	4.41	4.47	4.23	4.33	4.22	4.53	4.03	3.82	4.16	4.39	4.46	—	—
2017	4.60	4.61	4.76	4.42	4.48	4.19	4.31	4.18	4.57	4.02	3.88	4.12	4.37	4.46	—	—
2018	4.65	4.69	4.78	4.50	4.55	4.35	4.36	4.41	4.65	4.10	4.17	4.26	4.49	4.56	—	—
2019	4.62	4.69	4.82	4.55	4.60	4.40	4.44	4.41	4.67	4.18	4.24	4.31	4.54	4.60	—	—
2020	4.52	4.60	4.78	4.45	4.39	4.03	4.30	4.24	4.48	4.19	4.27	4.21	4.36	4.50	—	—
2021	4.67	4.74	4.82	4.61	4.66	4.30	4.50	4.40	4.74	4.40	4.36	4.31	4.49	4.58	4.52	4.51
2022	4.71	4.77	4.86	4.67	4.71	4.43	4.53	4.45	4.78	4.46	4.43	4.43	4.63	4.67	4.48	4.38
2023	4.59	4.63	4.74	4.53	4.63	4.27	4.32	4.34	4.63	4.37	4.35	4.21	4.40	4.48	4.32	4.39
2024	4.62	4.70	4.82	4.53	4.59	4.36	4.42	4.42	4.72	4.40	4.33	4.27	4.50	4.60	4.32	4.46
2025	4.73	4.75	4.85	4.59	4.66	4.37	4.47	4.43	4.74	4.45	4.36	4.33	4.57	4.64	4.35	4.42
平均	4.59	4.63	4.76	4.47	4.53	4.25	4.33	4.29	4.60	4.16	4.07	4.20	4.42	4.47	4.40	4.43

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.58	4.57	4.71	4.43	4.39	4.20	4.28	4.32	4.54	4.03	4.01	4.15	4.39	4.30	—	—
2010	4.66	4.64	4.71	4.51	4.52	4.30	4.38	4.34	4.58	4.14	4.04	4.24	4.40	4.34	—	—
2011	4.56	4.58	4.71	4.42	4.46	4.27	4.27	4.27	4.59	4.00	3.92	4.17	4.40	4.27	—	—
2012	4.50	4.58	4.68	4.38	4.43	4.16	4.21	4.22	4.49	4.02	3.87	4.06	4.27	4.35	—	—
2013	4.46	4.49	4.61	4.31	4.37	4.12	4.21	4.16	4.49	4.00	3.94	4.04	4.26	4.32	—	—
2014	4.61	4.63	4.74	4.49	4.54	4.33	4.37	4.29	4.60	4.13	4.00	4.20	4.43	4.52	—	—
2015	4.62	4.66	4.75	4.49	4.57	4.37	4.38	4.36	4.64	4.08	3.98	4.25	4.46	4.50	—	—
2016	4.63	4.67	4.80	4.51	4.46	4.28	4.36	4.28	4.59	4.02	3.88	4.18	4.49	4.54	—	—
2017	4.66	4.72	4.82	4.53	4.53	4.37	4.36	4.33	4.64	4.09	3.97	4.25	4.51	4.57	—	—
2018	4.74	4.74	4.81	4.63	4.70	4.54	4.51	4.50	4.74	4.29	4.30	4.41	4.63	4.67	—	—
2019	4.63	4.67	4.80	4.52	4.56	4.40	4.43	4.41	4.65	4.23	4.20	4.34	4.53	4.59	—	—
2020	4.62	4.66	4.80	4.55	4.54	4.25	4.35	4.38	4.63	4.35	4.30	4.28	4.46	4.57	—	—
2021	4.69	4.70	4.79	4.57	4.61	4.38	4.46	4.41	4.70	4.33	4.29	4.29	4.51	4.58	4.55	4.51
2022	4.71	4.74	4.84	4.60	4.69	4.48	4.48	4.45	4.72	4.47	4.40	4.41	4.57	4.65	4.41	4.39
2023	4.62	4.71	4.79	4.58	4.63	4.42	4.46	4.45	4.74	4.46	4.40	4.31	4.53	4.56	4.49	4.51
2024	4.68	4.73	4.85	4.52	4.68	4.35	4.43	4.39	4.74	4.47	4.28	4.27	4.48	4.58	4.29	4.36
2025	4.66	4.73	4.82	4.56	4.67	4.45	4.47	4.42	4.74	4.48	4.32	4.37	4.58	4.61	4.36	4.42
平均	4.63	4.66	4.77	4.51	4.55	4.33	4.38	4.35	4.64	4.21	4.12	4.25	4.46	4.50	4.42	4.44

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.57	4.69	4.37	4.37	4.17	4.23	4.22	4.51	4.00	3.95	4.12	4.36	4.25	—	—
2010	4.62	4.61	4.72	4.48	4.49	4.26	4.32	4.31	4.58	4.08	3.95	4.19	4.40	4.29	—	—
2011	4.55	4.58	4.72	4.38	4.49	4.20	4.19	4.22	4.55	4.03	3.90	4.12	4.36	4.27	—	—
2012	4.44	4.52	4.68	4.34	4.42	4.13	4.20	4.17	4.48	4.00	3.80	4.03	4.25	4.34	—	—
2013	4.51	4.53	4.66	4.34	4.41	4.13	4.19	4.15	4.50	4.00	3.88	4.06	4.29	4.36	—	—
2014	4.59	4.60	4.74	4.45	4.51	4.28	4.34	4.26	4.58	4.09	3.92	4.16	4.41	4.49	—	—
2015	4.60	4.63	4.74	4.48	4.55	4.33	4.37	4.34	4.62	4.05	3.91	4.20	4.45	4.50	—	—
2016	4.59	4.65	4.77	4.46	4.46	4.26	4.34	4.25	4.56	4.02	3.85	4.17	4.44	4.50	—	—
2017	4.63	4.66	4.79	4.47	4.50	4.28	4.33	4.25	4.60	4.05	3.92	4.18	4.43	4.51	—	—
2018	4.69	4.72	4.79	4.57	4.62	4.45	4.44	4.46	4.69	4.20	4.23	4.34	4.56	4.62	—	—
2019	4.63	4.68	4.81	4.53	4.58	4.40	4.44	4.41	4.66	4.20	4.22	4.32	4.53	4.60	—	—
2020	4.57	4.63	4.79	4.50	4.47	4.14	4.32	4.30	4.55	4.27	4.28	4.24	4.41	4.53	—	—
2021	4.68	4.72	4.80	4.59	4.63	4.34	4.48	4.41	4.72	4.37	4.33	4.30	4.50	4.58	4.54	4.51
2022	4.71	4.76	4.86	4.64	4.70	4.46	4.51	4.45	4.75	4.46	4.42	4.42	4.60	4.66	4.45	4.38
2023	4.60	4.67	4.76	4.55	4.63	4.34	4.39	4.39	4.68	4.41	4.38	4.26	4.46	4.52	4.41	4.45
2024	4.65	4.71	4.83	4.52	4.63	4.36	4.42	4.41	4.73	4.43	4.31	4.27	4.49	4.59	4.31	4.41
2025	4.69	4.74	4.84	4.58	4.66	4.41	4.47	4.43	4.74	4.46	4.34	4.35	4.57	4.63	4.35	4.42
平均	4.61	4.65	4.76	4.49	4.54	4.29	4.35	4.32	4.62	4.18	4.09	4.22	4.44	4.48	4.41	4.44

表４－２：コア科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.40	4.48	4.69	4.15	4.17	3.98	4.06	3.92	4.43	3.84	3.78	3.89	4.16	4.03	—	—
2010	4.46	4.42	4.59	4.39	4.18	3.96	4.10	3.92	4.39	3.93	3.79	3.86	4.10	3.98	—	—
2011	4.41	4.39	4.64	4.10	4.07	3.72	3.86	3.73	4.24	3.85	3.50	3.56	3.85	3.90	—	—
2012	4.01	4.12	4.47	3.87	4.06	3.57	3.78	3.69	4.19	3.71	3.32	3.47	3.63	3.80	—	—
2013	4.50	4.45	4.71	4.29	4.32	3.87	3.97	3.98	4.37	3.90	3.62	3.93	4.16	4.27	—	—
2014	4.49	4.52	4.80	4.44	4.32	4.11	4.20	4.10	4.50	4.04	3.66	4.00	4.30	4.40	—	—
2015	4.48	4.46	4.75	4.28	4.39	4.03	4.20	4.15	4.43	3.76	3.55	3.86	4.25	4.36	—	—
2016	4.43	4.57	4.70	4.29	4.27	4.15	4.25	4.07	4.37	3.92	3.63	4.01	4.23	4.33	—	—
2017	4.52	4.51	4.79	4.37	4.39	4.09	4.28	4.11	4.44	3.86	3.56	3.92	4.27	4.38	—	—
2018	4.52	4.60	4.81	4.42	4.41	4.16	4.17	4.21	4.58	4.08	4.00	4.05	4.32	4.42	—	—
2019	4.54	4.58	4.77	4.47	4.46	4.26	4.25	4.24	4.55	4.08	4.11	4.11	4.38	4.51	—	—
2020	4.53	4.58	4.81	4.51	4.30	3.90	4.31	4.15	4.37	4.15	4.24	4.09	4.24	4.45	—	—
2021	4.56	4.63	4.73	4.53	4.54	4.04	4.40	4.19	4.66	4.23	4.26	4.12	4.27	4.41	4.46	4.23
2022	4.62	4.63	4.77	4.58	4.55	4.18	4.37	4.29	4.68	4.31	4.31	4.19	4.48	4.55	4.51	4.26
2023	4.51	4.60	4.68	4.43	4.55	4.09	4.26	4.22	4.53	4.22	4.15	3.93	4.14	4.21	4.29	4.35
2024	4.56	4.66	4.81	4.40	4.42	4.17	4.36	4.23	4.65	4.25	4.26	3.91	4.26	4.42	4.36	4.41
2025	4.69	4.67	4.79	4.45	4.47	4.02	4.28	4.26	4.64	4.29	4.18	3.95	4.32	4.43	4.12	4.22
平均	4.48	4.52	4.72	4.35	4.35	4.02	4.18	4.09	4.47	4.02	3.88	3.93	4.20	4.29	4.35	4.29

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.55	4.48	4.69	4.38	4.03	3.82	4.03	4.13	4.39	3.95	3.86	3.86	4.16	4.03	—	—
2010	4.72	4.68	4.78	4.52	4.25	4.10	4.35	4.34	4.57	4.20	3.96	4.10	4.29	4.15	—	—
2011	4.49	4.41	4.64	4.38	4.15	4.03	4.09	4.07	4.46	4.01	3.90	3.99	4.19	4.08	—	—
2012	4.08	4.13	4.35	3.78	3.84	3.59	3.84	3.82	4.08	3.66	3.38	3.57	3.65	3.80	—	—
2013	4.27	4.24	4.53	4.15	4.17	3.99	4.22	4.19	4.28	3.89	3.72	3.96	4.10	4.23	—	—
2014	4.50	4.55	4.75	4.40	4.29	4.14	4.24	4.15	4.49	4.03	3.72	3.97	4.21	4.33	—	—
2015	4.50	4.53	4.76	4.31	4.39	4.17	4.33	4.30	4.51	3.94	3.64	4.06	4.28	4.33	—	—
2016	4.39	4.47	4.73	4.32	4.01	4.02	4.23	4.22	4.24	3.74	3.58	3.90	4.25	4.27	—	—
2017	4.48	4.56	4.76	4.42	4.23	4.11	4.19	4.25	4.40	3.88	3.60	3.98	4.29	4.36	—	—
2018	4.68	4.73	4.84	4.52	4.48	4.47	4.44	4.51	4.63	4.01	4.12	4.20	4.56	4.57	—	—
2019	4.45	4.56	4.77	4.36	4.26	4.19	4.25	4.20	4.41	3.88	3.99	4.02	4.26	4.38	—	—
2020	4.38	4.51	4.70	4.38	4.31	3.90	4.11	4.14	4.39	4.05	4.06	3.78	4.05	4.23	—	—
2021	4.69	4.67	4.80	4.55	4.54	4.26	4.40	4.37	4.65	4.21	4.19	4.09	4.37	4.40	4.58	4.52
2022	4.57	4.68	4.84	4.54	4.63	4.38	4.54	4.45	4.61	4.33	4.29	4.27	4.41	4.51	4.55	4.64
2023	4.48	4.64	4.85	4.47	4.44	4.28	4.26	4.27	4.65	4.13	4.18	3.93	4.29	4.31	4.55	4.33
2024	4.67	4.76	4.90	4.46	4.74	4.29	4.47	4.45	4.82	4.44	4.22	4.02	4.43	4.55	4.01	4.26
2025	4.70	4.72	4.82	4.54	4.65	4.44	4.48	4.41	4.72	4.50	4.32	4.27	4.52	4.54	4.25	4.32
平均	4.51	4.55	4.74	4.38	4.32	4.13	4.26	4.25	4.49	4.05	3.93	4.00	4.25	4.30	4.39	4.41

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.45	4.48	4.69	4.24	4.12	3.92	4.05	4.00	4.42	3.89	3.81	3.88	4.16	4.03	—	—
2010	4.58	4.54	4.68	4.45	4.21	4.03	4.21	4.11	4.47	4.05	3.87	3.97	4.19	4.06	—	—
2011	4.45	4.40	4.64	4.25	4.11	3.89	3.98	3.91	4.36	3.94	3.71	3.79	4.03	4.00	—	—
2012	4.04	4.12	4.42	3.83	3.98	3.58	3.81	3.74	4.15	3.69	3.34	3.51	3.64	3.80	—	—
2013	4.43	4.39	4.66	4.25	4.27	3.91	4.05	4.05	4.35	3.89	3.65	3.94	4.14	4.26	—	—
2014	4.50	4.53	4.78	4.42	4.31	4.12	4.22	4.12	4.49	4.04	3.69	3.99	4.26	4.37	—	—
2015	4.49	4.49	4.76	4.29	4.39	4.09	4.25	4.21	4.46	3.83	3.59	3.94	4.26	4.35	—	—
2016	4.41	4.51	4.71	4.31	4.14	4.08	4.24	4.15	4.30	3.83	3.60	3.95	4.24	4.30	—	—
2017	4.50	4.54	4.77	4.40	4.30	4.10	4.23	4.18	4.42	3.87	3.58	3.95	4.28	4.37	—	—
2018	4.58	4.65	4.82	4.46	4.44	4.28	4.28	4.33	4.60	4.05	4.05	4.11	4.42	4.48	—	—
2019	4.49	4.57	4.77	4.42	4.36	4.23	4.25	4.22	4.48	3.98	4.05	4.07	4.32	4.44	—	—
2020	4.47	4.55	4.77	4.46	4.31	3.90	4.22	4.15	4.38	4.11	4.17	3.96	4.16	4.36	—	—
2021	4.61	4.65	4.76	4.54	4.54	4.13	4.40	4.27	4.66	4.22	4.23	4.10	4.31	4.41	4.51	4.36
2022	4.60	4.65	4.79	4.56	4.58	4.24	4.42	4.35	4.66	4.32	4.30	4.21	4.46	4.54	4.52	4.38
2023	4.50	4.62	4.76	4.45	4.50	4.18	4.26	4.24	4.59	4.18	4.17	3.93	4.21	4.26	4.41	4.34
2024	4.61	4.71	4.85	4.43	4.59	4.23	4.42	4.34	4.73	4.34	4.24	3.97	4.35	4.49	4.20	4.34
2025	4.70	4.69	4.80	4.49	4.55	4.20	4.37	4.32	4.68	4.38	4.24	4.08	4.41	4.47	4.18	4.26
平均	4.49	4.53	4.73	4.37	4.33	4.07	4.22	4.16	4.48	4.04	3.90	3.96	4.23	4.29	4.37	4.34

表４－３：ベーシック科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.49	4.53	4.57	4.25	4.30	4.05	4.11	4.06	4.39	3.97	3.85	4.05	4.28	4.18	—	—
2010	4.61	4.60	4.78	4.45	4.54	4.22	4.23	4.28	4.60	4.04	3.82	4.17	4.41	4.21	—	—
2011	4.53	4.63	4.75	4.38	4.57	4.15	4.00	4.18	4.51	4.01	3.76	4.06	4.36	4.31	—	—
2012	4.38	4.55	4.72	4.38	4.47	4.16	4.18	4.16	4.45	3.98	3.65	4.08	4.32	4.41	—	—
2013	4.59	4.65	4.75	4.37	4.55	4.18	4.15	4.16	4.52	3.98	3.64	4.05	4.30	4.39	—	—
2014	4.55	4.51	4.68	4.31	4.47	4.10	4.27	4.12	4.49	3.99	3.73	4.00	4.30	4.37	—	—
2015	4.70	4.75	4.79	4.61	4.66	4.32	4.43	4.37	4.65	4.13	3.93	4.27	4.51	4.61	—	—
2016	4.53	4.62	4.71	4.40	4.54	4.18	4.34	4.22	4.54	3.98	3.76	4.12	4.40	4.47	—	—
2017	4.55	4.57	4.78	4.38	4.48	4.09	4.16	4.10	4.54	4.04	3.82	4.00	4.22	4.32	—	—
2018	4.63	4.71	4.82	4.50	4.57	4.29	4.24	4.31	4.61	4.14	4.15	4.20	4.44	4.54	—	—
2019	4.62	4.68	4.81	4.53	4.62	4.29	4.41	4.39	4.65	4.22	4.28	4.26	4.50	4.49	—	—
2020	4.57	4.69	4.83	4.49	4.48	4.00	4.28	4.21	4.57	4.35	4.35	4.32	4.41	4.57	—	—
2021	4.63	4.74	4.84	4.61	4.66	4.28	4.41	4.33	4.74	4.42	4.40	4.36	4.47	4.56	4.52	4.63
2022	4.72	4.83	4.91	4.73	4.73	4.44	4.51	4.37	4.81	4.53	4.51	4.53	4.65	4.71	4.37	4.47
2023	4.54	4.58	4.73	4.49	4.65	4.16	4.23	4.30	4.62	4.42	4.44	4.25	4.41	4.54	4.39	4.51
2024	4.56	4.69	4.86	4.52	4.56	4.30	4.33	4.38	4.68	4.45	4.31	4.35	4.48	4.56	4.24	4.42
2025	4.74	4.74	4.86	4.61	4.66	4.32	4.43	4.33	4.70	4.50	4.34	4.37	4.60	4.68	4.37	4.51
平均	4.58	4.65	4.78	4.47	4.56	4.21	4.28	4.25	4.59	4.19	4.04	4.20	4.42	4.47	4.38	4.51

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.60	4.54	4.67	4.39	4.27	4.10	4.19	4.22	4.38	3.99	3.83	4.10	4.33	4.27	—	—
2010	4.65	4.67	4.75	4.50	4.53	4.29	4.32	4.29	4.51	4.04	3.79	4.27	4.41	4.35	—	—
2011	4.50	4.59	4.73	4.38	4.57	4.21	4.22	4.27	4.60	3.90	3.73	4.18	4.34	4.23	—	—
2012	4.61	4.67	4.77	4.52	4.46	4.23	4.24	4.24	4.51	4.11	3.81	4.15	4.35	4.48	—	—
2013	4.39	4.38	4.57	4.18	4.17	3.92	4.03	3.92	4.37	3.85	3.73	3.83	4.10	4.18	—	—
2014	4.57	4.57	4.68	4.41	4.52	4.29	4.28	4.26	4.54	4.05	3.90	4.16	4.36	4.43	—	—
2015	4.69	4.64	4.75	4.53	4.53	4.31	4.29	4.37	4.61	4.02	3.80	4.16	4.45	4.47	—	—
2016	4.64	4.73	4.81	4.55	4.58	4.37	4.39	4.38	4.66	4.00	3.75	4.23	4.53	4.55	—	—
2017	4.65	4.73	4.78	4.52	4.49	4.29	4.35	4.26	4.63	4.04	3.92	4.16	4.39	4.47	—	—
2018	4.73	4.75	4.85	4.66	4.76	4.50	4.56	4.50	4.75	4.33	4.30	4.42	4.62	4.68	—	—
2019	4.63	4.65	4.76	4.50	4.52	4.32	4.38	4.35	4.59	4.22	4.06	4.30	4.45	4.53	—	—
2020	4.73	4.76	4.89	4.66	4.61	4.27	4.47	4.48	4.72	4.35	4.38	4.41	4.51	4.64	—	—
2021	4.80	4.75	4.82	4.67	4.64	4.34	4.54	4.48	4.73	4.39	4.34	4.32	4.57	4.65	4.69	4.65
2022	4.74	4.79	4.88	4.69	4.63	4.45	4.51	4.52	4.69	4.52	4.35	4.39	4.60	4.68	4.30	4.22
2023	4.69	4.76	4.78	4.62	4.60	4.34	4.58	4.51	4.69	4.49	4.49	4.29	4.55	4.57	4.62	4.59
2024	4.64	4.65	4.78	4.38	4.60	4.27	4.41	4.28	4.63	4.49	4.24	4.22	4.37	4.42	4.03	3.96
2025	4.60	4.64	4.75	4.58	4.56	4.32	4.42	4.30	4.60	4.43	4.33	4.27	4.42	4.49	4.23	4.22
平均	4.64	4.66	4.77	4.51	4.53	4.28	4.36	4.33	4.60	4.19	4.04	4.23	4.43	4.48	4.38	4.33

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.54	4.61	4.31	4.29	4.07	4.14	4.13	4.39	3.97	3.84	4.07	4.30	4.21	—	—
2010	4.63	4.63	4.77	4.47	4.54	4.24	4.26	4.28	4.57	4.04	3.81	4.20	4.41	4.26	—	—
2011	4.52	4.61	4.74	4.38	4.57	4.17	4.07	4.21	4.54	3.97	3.75	4.10	4.35	4.28	—	—
2012	4.48	4.60	4.74	4.44	4.47	4.19	4.21	4.19	4.48	4.04	3.72	4.11	4.33	4.44	—	—
2013	4.50	4.52	4.66	4.28	4.37	4.05	4.09	4.05	4.45	3.92	3.69	3.94	4.21	4.29	—	—
2014	4.56	4.54	4.68	4.36	4.50	4.20	4.27	4.20	4.52	4.02	3.82	4.08	4.33	4.40	—	—
2015	4.69	4.70	4.78	4.57	4.60	4.31	4.37	4.37	4.63	4.08	3.87	4.22	4.48	4.54	—	—
2016	4.59	4.68	4.76	4.48	4.56	4.28	4.36	4.30	4.60	3.99	3.75	4.17	4.46	4.51	—	—
2017	4.60	4.65	4.78	4.45	4.48	4.19	4.26	4.18	4.58	4.04	3.87	4.08	4.30	4.40	—	—
2018	4.68	4.73	4.83	4.58	4.67	4.40	4.41	4.41	4.68	4.25	4.23	4.31	4.54	4.61	—	—
2019	4.62	4.66	4.78	4.51	4.57	4.31	4.39	4.37	4.62	4.22	4.17	4.28	4.48	4.51	—	—
2020	4.64	4.73	4.86	4.57	4.54	4.13	4.37	4.33	4.64	4.35	4.37	4.36	4.46	4.60	—	—
2021	4.71	4.75	4.83	4.64	4.65	4.31	4.47	4.40	4.73	4.41	4.37	4.34	4.52	4.60	4.60	4.64
2022	4.73	4.82	4.90	4.71	4.70	4.44	4.51	4.43	4.76	4.53	4.45	4.48	4.63	4.70	4.35	4.37
2023	4.60	4.65	4.75	4.54	4.63	4.23	4.36	4.38	4.65	4.45	4.46	4.27	4.47	4.55	4.48	4.54
2024	4.59	4.67	4.83	4.47	4.58	4.29	4.36	4.34	4.66	4.47	4.28	4.30	4.44	4.51	4.17	4.28
2025	4.68	4.70	4.82	4.60	4.62	4.32	4.43	4.32	4.66	4.47	4.34	4.33	4.53	4.60	4.31	4.39
平均	4.61	4.66	4.77	4.49	4.55	4.24	4.31	4.29	4.60	4.19	4.05	4.21	4.43	4.47	4.38	4.44

表４－４：アドバンスト科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.62	4.71	4.77	4.51	4.56	4.39	4.37	4.39	4.65	4.07	4.07	4.32	4.53	4.35	—	—
2010	4.64	4.67	4.74	4.48	4.56	4.39	4.42	4.48	4.64	4.07	4.01	4.27	4.54	4.42	—	—
2011	4.61	4.63	4.75	4.46	4.64	4.34	4.36	4.36	4.63	4.16	4.17	4.31	4.50	4.38	—	—
2012	4.60	4.63	4.77	4.51	4.60	4.39	4.45	4.35	4.67	4.12	4.07	4.28	4.52	4.58	—	—
2013	4.55	4.57	4.68	4.41	4.46	4.27	4.35	4.24	4.57	4.07	4.10	4.21	4.43	4.48	—	—
2014	4.60	4.62	4.74	4.46	4.56	4.35	4.40	4.33	4.65	4.11	4.02	4.25	4.49	4.54	—	—
2015	4.58	4.63	4.71	4.48	4.55	4.41	4.39	4.38	4.66	4.09	3.97	4.26	4.51	4.54	—	—
2016	4.60	4.66	4.76	4.45	4.50	4.28	4.35	4.28	4.59	4.10	3.92	4.23	4.44	4.51	—	—
2017	4.64	4.65	4.74	4.45	4.50	4.26	4.37	4.23	4.62	4.06	4.00	4.22	4.45	4.54	—	—
2018	4.71	4.72	4.76	4.54	4.59	4.46	4.49	4.53	4.69	4.09	4.25	4.37	4.57	4.63	—	—
2019	4.66	4.73	4.84	4.58	4.64	4.50	4.52	4.47	4.72	4.19	4.27	4.39	4.62	4.68	—	—
2020	4.49	4.55	4.73	4.39	4.36	4.11	4.32	4.29	4.48	4.10	4.22	4.19	4.38	4.48	—	—
2021	4.75	4.79	4.84	4.65	4.71	4.45	4.60	4.56	4.78	4.49	4.39	4.39	4.62	4.69	4.56	4.59
2022	4.74	4.78	4.87	4.68	4.76	4.54	4.63	4.59	4.81	4.46	4.42	4.47	4.67	4.70	4.52	4.38
2023	4.66	4.68	4.77	4.59	4.66	4.43	4.42	4.42	4.68	4.39	4.37	4.31	4.50	4.55	4.26	4.30
2024	4.70	4.73	4.79	4.60	4.69	4.51	4.52	4.55	4.79	4.43	4.39	4.38	4.65	4.71	4.36	4.52
2025	4.74	4.81	4.87	4.66	4.69	4.60	4.60	4.60	4.82	4.50	4.47	4.51	4.67	4.73	4.43	4.46
平均	4.64	4.68	4.77	4.52	4.59	4.39	4.44	4.42	4.67	4.21	4.18	4.32	4.54	4.56	4.43	4.45

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.57	4.61	4.74	4.47	4.58	4.38	4.42	4.45	4.68	4.09	4.17	4.28	4.51	4.41	—	—
2010	4.64	4.61	4.67	4.50	4.61	4.38	4.42	4.36	4.62	4.18	4.20	4.28	4.43	4.40	—	—
2011	4.64	4.67	4.74	4.46	4.58	4.44	4.40	4.39	4.66	4.06	4.04	4.27	4.55	4.40	—	—
2012	4.58	4.67	4.74	4.50	4.61	4.31	4.31	4.36	4.61	4.10	4.06	4.18	4.44	4.47	—	—
2013	4.56	4.62	4.66	4.43	4.55	4.28	4.31	4.30	4.62	4.12	4.12	4.19	4.40	4.43	—	—
2014	4.68	4.71	4.79	4.59	4.65	4.43	4.49	4.37	4.69	4.22	4.18	4.31	4.58	4.66	—	—
2015	4.63	4.71	4.74	4.54	4.65	4.47	4.44	4.37	4.69	4.16	4.17	4.35	4.53	4.57	—	—
2016	4.71	4.73	4.81	4.56	4.57	4.34	4.39	4.26	4.69	4.13	4.05	4.26	4.57	4.64	—	—
2017	4.74	4.78	4.87	4.58	4.67	4.53	4.44	4.40	4.74	4.20	4.15	4.41	4.66	4.70	—	—
2018	4.76	4.75	4.78	4.64	4.73	4.58	4.51	4.50	4.76	4.34	4.34	4.46	4.65	4.70	—	—
2019	4.70	4.73	4.83	4.59	4.69	4.51	4.52	4.51	4.76	4.36	4.34	4.48	4.65	4.70	—	—
2020	4.64	4.66	4.78	4.55	4.59	4.36	4.36	4.40	4.66	4.46	4.33	4.37	4.57	4.65	—	—
2021	4.64	4.69	4.77	4.54	4.62	4.43	4.44	4.39	4.70	4.35	4.30	4.34	4.53	4.60	4.47	4.45
2022	4.73	4.74	4.83	4.57	4.72	4.52	4.45	4.43	4.75	4.47	4.45	4.45	4.59	4.67	4.41	4.40
2023	4.63	4.71	4.78	4.59	4.70	4.49	4.48	4.49	4.78	4.54	4.43	4.42	4.59	4.63	4.43	4.53
2024	4.69	4.74	4.86	4.59	4.68	4.40	4.41	4.40	4.75	4.48	4.32	4.39	4.53	4.65	4.47	4.51
2025	4.67	4.76	4.85	4.57	4.72	4.50	4.48	4.47	4.80	4.49	4.32	4.43	4.66	4.68	4.44	4.53
平均	4.66	4.70	4.78	4.55	4.64	4.43	4.43	4.40	4.70	4.28	4.23	4.35	4.56	4.59	4.44	4.48

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.59	4.65	4.75	4.48	4.57	4.39	4.40	4.42	4.67	4.08	4.13	4.29	4.52	4.38	—	—
2010	4.64	4.63	4.70	4.49	4.59	4.39	4.42	4.42	4.63	4.13	4.11	4.28	4.48	4.41	—	—
2011	4.62	4.65	4.75	4.46	4.62	4.39	4.38	4.38	4.65	4.12	4.11	4.29	4.53	4.39	—	—
2012	4.59	4.65	4.75	4.51	4.61	4.34	4.37	4.35	4.64	4.11	4.07	4.22	4.47	4.52	—	—
2013	4.56	4.60	4.67	4.42	4.51	4.28	4.33	4.27	4.60	4.10	4.11	4.20	4.41	4.45	—	—
2014	4.64	4.66	4.76	4.52	4.60	4.38	4.43	4.35	4.67	4.16	4.09	4.27	4.53	4.59	—	—
2015	4.61	4.67	4.72	4.51	4.60	4.44	4.41	4.38	4.68	4.13	4.07	4.31	4.52	4.55	—	—
2016	4.66	4.69	4.79	4.50	4.54	4.31	4.37	4.27	4.64	4.11	3.99	4.24	4.50	4.57	—	—
2017	4.68	4.71	4.80	4.51	4.57	4.37	4.40	4.30	4.67	4.12	4.06	4.30	4.54	4.60	—	—
2018	4.73	4.73	4.77	4.59	4.66	4.52	4.50	4.51	4.72	4.22	4.29	4.42	4.61	4.66	—	—
2019	4.68	4.73	4.84	4.59	4.66	4.51	4.52	4.49	4.74	4.27	4.30	4.43	4.63	4.69	—	—
2020	4.57	4.61	4.76	4.47	4.48	4.24	4.34	4.35	4.58	4.29	4.28	4.29	4.48	4.57	—	—
2021	4.69	4.73	4.80	4.59	4.66	4.44	4.51	4.46	4.73	4.41	4.34	4.36	4.57	4.64	4.51	4.51
2022	4.73	4.76	4.85	4.62	4.74	4.53	4.54	4.50	4.78	4.47	4.44	4.46	4.63	4.68	4.47	4.39
2023	4.64	4.69	4.78	4.59	4.68	4.46	4.45	4.46	4.74	4.48	4.40	4.37	4.55	4.60	4.36	4.44
2024	4.69	4.74	4.83	4.60	4.69	4.45	4.46	4.47	4.77	4.46	4.35	4.39	4.58	4.68	4.42	4.51
2025	4.70	4.78	4.86	4.61	4.74	4.54	4.54	4.53	4.81	4.49	4.39	4.47	4.66	4.70	4.43	4.50
平均	4.65	4.69	4.77	4.53	4.62	4.41	4.43	4.41	4.69	4.24	4.21	4.33	4.54	4.57	4.44	4.47

(2) 科目別学生満足度

表4-5は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目の科目群別に、設問12の「この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか」、設問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」、設問14の「この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか」の科目ごとの平均（小数点第3位で四捨五入）を示したものである。各科目の授業の平均値については、履修者が抱える個別事情など様々な事情も絡んでいる。個々の教員がそれぞれに適切に分析し、今後の授業に生かしていくことが求められるであろう。

特に設問13の総合満足度が4.0を下回る科目として、コア科目で2科目、ベーシック科目で2科目、そしてアドバンスト科目で3科目あり、それらの科目についての改善が求められる。

表4-5：科目ごとの回答の平均値

春学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	1	32	4.23	4.66	4.63
経営学	1	18	4.22	4.56	4.83
経営学	2	11	4.45	4.64	4.90
会計学	1	25	3.21	3.46	3.63
経済学	1	22	4.47	4.65	4.76
統計学	1	39	3.50	3.91	4.14
統計学	2	38	4.28	4.41	4.63
英語コミュニケーション	1	22	3.83	4.63	4.53
英語コミュニケーション	2	16	3.69	4.43	4.21

秋学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	2	43	4.12	4.29	4.35
経営学	3	27	4.75	4.83	4.83
会計学	2	20	4.38	4.76	4.82
経済学	2	26	4.46	4.68	4.80
統計学	3	33	4.39	4.33	4.39
英語コミュニケーション	3	15	4.18	4.58	4.50
英語コミュニケーション	4	23	3.75	4.60	4.35

春学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	1	21	4.12	4.29	4.24
経営戦略A		14	4.33	4.83	5.00
ビジネスプランニング		30	4.30	4.74	4.78
人的資源管理	1	19	4.19	4.53	4.41
マーケティング・マネジメント	1	12	4.91	5.00	5.00
マーケティング・マネジメントA		15	4.33	4.50	4.50
コーポレート・ファイナンス基礎	1	26	4.26	4.61	4.78
財務・管理会計		14	4.67	4.75	4.83
テクノロジー・マネジメント	1	22	4.76	4.95	4.90
テクノロジー・マネジメントA		16	5.00	4.50	4.50
情報システム		17	4.00	3.83	4.17
ベンチャービジネス	1	24	4.13	4.46	4.42
公共経営論	1	7	4.17	4.50	4.33
行動科学		20	4.40	4.73	4.79
統計分析論		43	4.35	4.43	4.70
ゲーム理論	1	2	4.50	5.00	5.00
上級英語コミュニケーション	1	1	5.00	5.00	5.00
イノベーション・シンキング	1	13	4.33	4.42	4.58
コンサルティングスキル		14	4.42	4.92	5.00
コーチング論		15	5.00	5.00	5.00
店舗施設マネジメント		15	4.67	5.00	5.00

秋学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	2	26	3.75	3.42	3.67
人的資源管理	2	19	4.00	4.20	4.47
マーケティング・マネジメント	2	24	4.65	4.70	4.70
コーポレート・ファイナンス基礎	2	8	4.75	4.88	4.88
財務諸表分析		24	4.68	4.79	4.84
テクノロジー・マネジメント	2	17	4.25	4.88	4.81
ベンチャービジネス	2	9	4.75	4.71	4.75
公共経営論	2	10	4.40	4.70	4.60
ゲーム理論	2	17	3.85	4.23	4.23
会社法		21	3.94	4.11	4.17
上級英語コミュニケーション	2	1	5.00	5.00	5.00
イノベーション・シンキング	2	14	4.36	4.73	4.82
コンサルティングプロセス		14	4.31	4.54	4.69

春学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
管理会計		30	4.29	4.75	4.71
組織管理	1	30	4.16	4.36	4.46
人材マネジメント		23	4.67	4.81	4.86
地域振興		5	4.60	4.80	5.00
Business Negotiation		1	5.00	5.00	5.00
マーケティング・コミュニケーション	1	5	4.80	4.80	4.80
マーケティング戦略		4	5.00	5.00	5.00
営業戦略		4	4.50	4.00	4.50
流通システム		3	5.00	5.00	5.00
消費者行動		4	4.75	5.00	5.00
ソーシャル・マネジメント		11	4.00	4.75	4.75
リスクマネジメント		2	4.50	5.00	5.00
行動経済学		30	4.58	4.73	4.88
生産システム		3	4.67	5.00	4.67
製品開発		14	4.69	4.77	4.77
標準化経営戦略		10	4.29	4.00	4.13
知的財産戦略		11	4.40	4.60	4.60
ベンチャービジネス事例研究		23	4.59	4.68	4.73
ベンチャー型事業承継		8	5.00	5.00	5.00
中小企業経営革新		20	4.41	4.61	4.72
ベンチャーファイナンス		9	4.67	4.83	4.83
企業経営戦略特論A		8	4.33	4.50	4.50
企業経営戦略特論E		18	4.50	4.70	4.80
企業経営戦略特論I		44	4.17	4.51	4.60
課題研究基礎	2	5	4.50	5.00	5.00
課題研究基礎	3	6	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	9	7	4.83	5.00	5.00
企業経営戦略特論N		11	4.40	4.50	4.50
課題研究	1	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	3	3	4.67	5.00	5.00
課題研究	5	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	7	1	4.00	4.00	5.00
課題研究	17	1	5.00	5.00	5.00
課題研究	19	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	23	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	25	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	29	2	4.50	5.00	5.00
経営戦略策定実習I	1	8	4.20	4.20	4.40
経営戦略策定実習I	2	8	5.00	5.00	5.00
公共政策		5	4.40	4.40	4.20
病院経営		11	5.00	5.00	5.00
病院会計		6	5.00	5.00	5.00
病院経営事例研究		8	4.67	4.83	4.83
地方大学経営		2	5.00	5.00	5.00
大学組織管理		1	4.00	5.00	5.00
組織診断		14	4.67	4.67	4.83
人材マネジメントA		14	4.82	4.83	4.83
流通業総合演習		16	4.25	4.00	4.13
情報化支援・流通業		15	4.25	4.25	4.75

秋学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
組織行動		34	4.32	4.68	4.68
コーポレート・ファイナンス応用		6	4.50	4.50	4.50
組織管理	2	15	4.33	4.42	4.50
NPOマネジメント		8	4.50	5.00	5.00
事業システム戦略論		10	4.50	4.88	4.88
経営戦略事例研究		11	4.50	4.90	4.90
サービス・マーケティング		10	4.50	4.75	4.63
サービス・マネジメント		4	3.50	4.00	4.00
チャンネル・マネジメント		1	5.00	5.00	5.00
ブランド・マネジメント		13	4.58	4.75	4.75
マーケティング・コミュニケーション	2	11	4.64	5.00	5.00
ロジスティクス		3	3.50	4.00	4.00
国際マーケティング		5	4.60	5.00	5.00
マーケティング・リサーチ		20	4.22	4.33	4.50
証券投資		5	4.25	4.75	4.50
行動ファイナンス		3	4.33	5.00	5.00
マーケットデータ解析		4	4.25	4.50	4.50
イノベーション経営		25	4.41	4.77	4.77
データマイニング		13	4.00	4.42	4.42
製品開発事例研究		7	4.67	5.00	4.86
システム・シンキング		11	4.45	4.64	4.91
システム・デザイン演習		19	4.68	4.84	4.89
中小企業経営・承継		21	4.60	4.70	4.75
M&A・再生・承継ストラクチャリング		24	4.38	4.64	4.73
知的財産権法		4	4.67	4.67	4.67
企業経営戦略特論C		6	3.75	4.00	4.25
企業経営戦略特論F		11	4.60	5.00	4.80
課題研究基礎	4	8	3.29	3.00	3.71
課題研究基礎	5	6	4.33	4.67	4.67
課題研究基礎	7	10	4.67	4.89	4.89
課題研究基礎	8	19	4.50	4.71	4.93
企業経営戦略特論M		13	4.25	4.75	4.92
課題研究	2	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	4	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	6	6	5.00	5.00	5.00
課題研究	14	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	18	5	4.80	5.00	5.00
課題研究	20	6	5.00	5.00	5.00
課題研究	24	6	5.00	5.00	5.00
課題研究	26	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	28	3	4.67	4.67	4.67
経営診断実習（流通業）	1	7	4.14	4.86	4.86
経営診断実習（流通業）	2	7	4.71	4.57	4.86
経営診断実習（製造業）	1	7	4.67	4.83	4.83
経営診断実習（製造業）	2	7	4.71	4.86	4.86
経営戦略策定実習II	1	8	4.88	4.75	4.75
経営戦略策定実習II	2	8	4.50	4.50	4.63
経営総合ソリューション実習	1	8	4.67	4.67	4.67
経営総合ソリューション実習	2	8	4.67	5.00	4.83
官民パートナーシップ論		4	3.67	4.67	4.33
公共政策事例研究		4	4.67	5.00	4.67
自治体経営		16	3.64	3.93	3.71
自治体会計		3	5.00	5.00	5.00
自治体財務管理		3	4.67	5.00	5.00
病院組織管理		12	4.60	4.90	4.70
医療経済学		15	4.36	4.64	4.57
学校法人会計		4	4.50	5.00	5.00
大学経営		2	4.50	5.00	5.00
税務戦略		9	4.40	4.20	4.40
マーケティング戦略（BtoB）営業マネジメント		14	2.88	2.38	2.50
生産マネジメント		14	4.75	5.00	5.00
生産イノベーション		14	4.80	5.00	5.00
情報化支援・製造業		14	4.55	4.82	4.82

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目自己評価は Web 上でのアンケート形式で実施されている。主な質問項目とその集計結果を以下に示す。

[主な質問項目]

1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。
5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6. この授業はあなたにとって満足のものでしたか。
7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9. 上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

各設問の平均値（5 件法）を見ると、シラバスに沿った授業（設問 1, 4.57）、発言・議論への配慮（設問 2, 4.58）、学生の質問への対応（設問 4, 4.55）が高い水準にある一方、個々の理解水準への配慮（設問 3, 4.31）、分析能力・批判力の養成（設問 5, 4.21）、授業への自己満足度（設問 6, 4.22）はやや低めにとどまった。回答分布で見ても、大半の教員が「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答しており、否定的な回答（「あまりそう思わない」以下）は設問 6 で 5 件、設問 7 で 3 件、設問 5 で 2 件にとどまる。総じて、教員の多くは満足 of いく授業をおこなったと認識していることがわかる。

もっとも、こうした教員の手応えが学生の評価とどの程度対応しているかについては、慎重な検討を要する。本年度から、学生アンケートと教員自己評価アンケートを授業単位で対応づけて分析できるようになったため、学生の授業満足度（学生設問 13）を目的変数、教員自己評価の設問 1～7 を説明変数とする回帰分析（ $R^2=0.16$, $N=161$ ）をおこなった。その結果、いずれの設問も学生満足度との有意な関連を示さず、モデル全体の説明力も $R^2=0.16$ と低い。教員自身の授業満足度（教員設問 6）と学生満足度との相関も、 $r=+0.05$ とほぼ無相関であった。すなわち、教員が「満足 of いく授業ができた」と感じることに、学生が実際に満足することとは、必ずしも一致していない。

この結果は、先の学生評価の分析と対照的である。学生評価では、学生から見た教員の準備（学生設問 2）や理解度への配慮（学生設問 6）、教材の活用（学生設問 4）が満足度と強く関連していた。すなわち、学生が実感できる形での働きかけは満足度に結びつく一方で、教員自身の主観的な手応えは、それを保証しないということである。言い換えれば、教員が意図した設計や運営が学生の理解・納得につながっているかは、教員自己評価だけでは判断しにくく、学生評価と突き合わせて初めて確認できる。今後は、両者の乖離が大きい授業を対象に、教員が意図した設計・教材・説明が学生の学習経験にどう受け止められているかを、授業単位で点検していくことが求められる。

表４－６：教員による担当科目自己評価集計結果

設問	開講期	そう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当しない	総計
1	春	47	33	0	0	0	0	80
	1Q	20	13	0	0	0	0	33
	2Q	21	12	0	0	0	0	33
	夏季集中	6	8	0	0	0	0	14
	秋	48	33	2	0	0	0	83
	秋季集中	6	1	1	0	0	0	8
	3Q	20	10	0	0	0	0	30
	4Q	16	17	1	0	0	0	34
	冬季集中	6	5	0	0	0	0	11
2	春	46	31	3	0	0	0	80
	1Q	20	12	1	0	0	0	33
	2Q	18	14	1	0	0	0	33
	夏季集中	8	5	1	0	0	0	14
	秋	54	27	2	0	0	0	83
	秋季集中	6	2	0	0	0	0	8
	3Q	21	8	1	0	0	0	30
	4Q	20	13	1	0	0	0	34
	冬季集中	7	4	0	0	0	0	11
3	春	26	49	4	0	0	1	80
	1Q	13	19	1	0	0	0	33
	2Q	10	19	3	0	0	1	33
	夏季集中	3	11	0	0	0	0	14
	秋	34	44	5	0	0	0	83
	秋季集中	2	6	0	0	0	0	8
	3Q	14	14	2	0	0	0	30
	4Q	12	19	3	0	0	0	34
	冬季集中	6	5	0	0	0	0	11
4	春	39	39	2	0	0	0	80
	1Q	19	14	0	0	0	0	33
	2Q	14	18	1	0	0	0	33
	夏季集中	6	7	1	0	0	0	14
	秋	52	31	0	0	0	0	83
	秋季集中	4	4	0	0	0	0	8
	3Q	18	12	0	0	0	0	30
	4Q	22	12	0	0	0	0	34
	冬季集中	8	3	0	0	0	0	11
5	春	26	44	9	0	0	1	80
	1Q	12	18	3	0	0	0	33
	2Q	11	18	4	0	0	0	33
	夏季集中	3	8	2	0	0	1	14
	秋	29	45	7	1	1	0	83
	秋季集中	1	6	1	0	0	0	8
	3Q	13	15	1	0	1	0	30
	4Q	10	19	4	1	0	0	34
	冬季集中	5	5	1	0	0	0	11
6	春	28	44	5	0	3	0	80
	1Q	15	15	2	0	1	0	33
	2Q	8	22	1	0	2	0	33
	夏季集中	5	7	2	0	0	0	14
	秋	28	48	5	0	2	0	83
	秋季集中	1	6	1	0	0	0	8
	3Q	12	15	2	0	1	0	30
	4Q	11	21	1	0	1	0	34
	冬季集中	4	6	1	0	0	0	11
7	春	37	36	4	3	0	0	80
	1Q	19	12	1	1	0	0	33
	2Q	12	17	2	2	0	0	33
	夏季集中	6	7	1	0	0	0	14
	秋	35	34	14	0	0	0	83
	秋季集中	3	3	2	0	0	0	8
	3Q	15	10	5	0	0	0	30
	4Q	10	17	7	0	0	0	34
	冬季集中	7	4	0	0	0	0	11
9	春	26	49	5	0	0	0	80
	1Q	17	15	1	0	0	0	33
	2Q	5	25	3	0	0	0	33
	夏季集中	4	9	1	0	0	0	14
	秋	33	45	5	0	0	0	83
	秋季集中	3	4	1	0	0	0	8
	3Q	14	14	2	0	0	0	30
	4Q	10	22	2	0	0	0	34
	冬季集中	6	5	0	0	0	0	11

5. Business School, International Management Course

(経営戦略専攻国際経営コース)

A. Course evaluation by students

In this section, we discuss results of the academic year (hereafter, AY) 2025 course evaluation survey for IMC courses. Table 5-1 shows the list of questions asked in the survey. Q14: “*Course content were highly relevant and useful for your future career*” is a question item unique to IMC course evaluation survey. From AY2025, we made explicit that Q16 and Q17 are only applicable to courses whose "Course Implementation Format" is designated as "Online format: Simultaneous and two-way" on the web-syllabus. We acknowledge that some students may be disappointed when the course is offered (only) in an in-person format, which should be distinguished from (dis)satisfaction with courses offered in Online or Hyflex formats.

Table 5-1: Questions asked in the course evaluation by students for AY2025

Q1.	The course met the objectives and topics described in the syllabus.
Q2.	The instructor was well prepared for the classes.
Q3.	The instructor's knowledge level was high enough to teach the course.
Q4.	The prescribed textbooks and teaching materials were helpful for your learning.
Q5.	The instructor encouraged students comment and discussion.
Q6.	Instructor's interest in whether students learned was high.
Q7.	The amount of work assigned was reasonable.
Q8.	The course was well organized in terms of contents and time allocation.
Q9.	The instructor answered students' questions clearly and sufficiently.
Q10.	You prepared and reviewed proactively for the course.
Q11.	You studied a reference that the instructor suggested.
Q12.	You have obtained analytical abilities and critical thinking from the course.
Q13.	Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students.
Q14.	Course content were highly relevant and useful for your future career.
Q16.	【Answer only if the "Course Implementation Format" is designated as "Online format: Simultaneous and two-way" on the web-syllabus.】 You had no problem taking this course online.
Q17.	【Answer only if the "Course Implementation Format" is designated as "Online format: Simultaneous and two-way" on the web-syllabus.】 The instructor was proficient in teaching online.

Results are shown for the spring semester, the fall semester, as well as for the whole year, in comparison with those for preceding three years (Table 5-2).

Table 5-2: Results of course evaluation by students for AY2025 (as compared to preceding three years, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.65	4.70	4.74	4.56	4.68	4.65	4.60	4.66	4.65	4.58	4.52	4.57	4.58	4.61	4.56	4.55
	2023	4.71	4.74	4.78	4.63	4.69	4.57	4.58	4.66	4.61	4.63	4.64	4.61	4.61	4.58	4.44	4.55
	2024	4.62	4.67	4.70	4.53	4.68	4.62	4.53	4.53	4.65	4.51	4.54	4.55	4.58	4.57	4.33	4.47
	2025	4.64	4.65	4.70	4.56	4.68	4.66	4.57	4.54	4.66	4.57	4.51	4.52	4.54	4.56	4.44	4.49
Fall semester	2022	4.67	4.74	4.73	4.48	4.60	4.58	4.48	4.56	4.60	4.56	4.55	4.55	4.56	4.58	4.47	4.52
	2023	4.61	4.68	4.71	4.44	4.68	4.58	4.47	4.52	4.57	4.54	4.51	4.52	4.56	4.55	4.34	4.42
	2024	4.61	4.60	4.65	4.49	4.59	4.51	4.52	4.51	4.60	4.44	4.47	4.41	4.49	4.46	4.35	4.39
	2025	4.71	4.76	4.75	4.64	4.68	4.63	4.55	4.66	4.71	4.66	4.62	4.60	4.62	4.62	4.59	4.62
Whole year	2022	4.66	4.72	4.74	4.52	4.64	4.62	4.54	4.61	4.62	4.57	4.53	4.56	4.57	4.59	4.52	4.54
	2023	4.66	4.71	4.74	4.54	4.69	4.58	4.53	4.59	4.59	4.59	4.57	4.57	4.59	4.56	4.39	4.49
	2024	4.62	4.63	4.67	4.51	4.63	4.56	4.53	4.52	4.62	4.48	4.50	4.48	4.53	4.51	4.34	4.43
	2025	4.67	4.70	4.72	4.60	4.68	4.65	4.56	4.60	4.68	4.62	4.56	4.56	4.58	4.59	4.51	4.55

Overall evaluation by students turns out to be positive for AY2025. Averaged response scores for all 16 question items exceed 4.5. We can interpret this result as an indication that students are reasonably satisfied with

courses offered at IMC. As for the changes from the previous year, it is encouraging to observe improvements in average scores for all question items. This improvement stopped the consecutive drop in students' satisfaction for the previous three years.

Particularly, we are glad to report that the average score for Q14: *"Course content were highly relevant and useful for your future career"* increases by 0.08 points, by reversing the consecutive declining trend for the previous three years. The improvements are observed for all course layers, including Core, Basic, as well as Advanced courses (with particularly substantial improvement, i.e., 0.18 points, in the Core courses). The averaged score for Q14: *"Course content were highly relevant and useful for your future career"* shows students' satisfaction with their overall learning experience at IMC. The improvements can be decomposed into four areas as described below.

Firstly, there are modest improvements in the average scores for two questions on students' satisfaction with instructors' teaching, including Q2: *"The instructor was well prepared for the classes"* (0.07 points) and Q3: *"The instructor's knowledge level was high enough to teach the course"* (0.05 points). Some comments by students expressing their high satisfaction are shown below. A student of a Core course expressed high satisfaction by writing that *"[The course] provides essential knowledge of managerial and financial accounting, focusing on how accounting data supports business decisions... The course strengthens analytical skills and helps students understand how to interpret financial information for strategic planning."* Another student of an Advanced course described satisfactory learning experiences by writing that *"This course offers a uniquely valuable perspective by focusing specifically on the intersection of brand building and family business dynamics. The exploration of how family values, legacy, and governance directly shape a brand's identity and longevity was particularly insightful and not commonly found in standard business curricula."* There was another praise for a unique teaching approach employed in an Advanced course; *"The course applied a Problem-Based Learning (PBL) approach, which was particularly well-designed, with three distinct cycles that progressively build understanding from foundational concepts of culture, through organizational and contextual applications, to practical managerial strategies in multicultural environments."*

However, there still remains some potential areas for improvements with the Basic courses as shown by 0.08 points decline in the average score for Q3: *"The instructor's knowledge level was high enough to teach the course."* Close examination of students' comments on unfavorably evaluated courses reveals aspects of teaching they are dissatisfied with. For example, the group interview report mentions a student who *"felt the most important aspect is interaction between students & with professors. Classes that used more one-way lecturing were very dissatisfying."* The lack of sufficient interactions may be due to English proficiency of instructors. Another student shared the learning difficulty experienced in a Basic course, saying *"It is hoped that the invited professors can speak English."* Full-time instructors are also expected to pay closer attention to their English proficiency as another student expresses that *"I had some difficulties about my listening as the instructor accent was very heavy for me."* Effective interactions also depend on in-class interactive delivery of course contents. One student of a Basic course suggests that *"the instructor should stop just reading the script word for word during class. This approach makes the lectures monotonous and makes it hard to stay interested or think deeply about the material. I hope that in the future, the instructor can focus more on practical examples and encourage interaction, allowing students to ask questions and share their own opinions instead of just listening passively."*

Secondly, we also observe modest improvements of 0.08 points in the average score for Q8: *"The course*

was well organized in terms of contents and time allocation.” One example of highly satisfactory course is described by a student that *“I felt a clear connection amongst the sessions. Each chapter was built upon, and [the instructor] had a clear goal.”* On the other hand, some opportunities for possible improvements remain at Basic courses. For example, some student voiced their dissatisfaction that some courses are run without checking students’ understanding by suggesting *“More step-by-step Excel tutorials would also help students apply concepts like NPV or IRR more effectively.”* Another student echoed the same suggestion by saying *“I think adding the excel formulas to the PDF could be useful, as well as general excel tips (such as goalseek) clearly explained in the PDFs.”*

Another promising improvement is found in ascending average scores for Q10: *“You prepared and reviewed proactively for the course,”* (0.14 points) Q11: *“You studied a reference that the instructor suggested,”* (0.06 points) as well as for Q12: *“You have obtained analytical abilities and critical thinking from the course”* (0.08 points). In particular, big improvements were made by the Core layer courses, i.e., 0.26, 0.26, 0.19 points, respectively. Given that improvements are particularly salient in Core courses, the change may be largely due to the enrollment of highly diligent new students.

Finally, big improvements are also observed for on-line class as indicated by ascending scores for Q16: *“You had no problem taking this course online”* (0.17 points) and Q17: *“The instructor was proficient in teaching online”* (0.13 points). Those scores improved for all course layers, including Core, Basic, and Advanced courses. One major reason behind this improvement may be the revised wording of these questions. Specifically, we made explicit that Q16 and Q17 are only applicable to courses whose "Course Implementation Format" is designated as "Online format: Simultaneous and two-way" on the web-syllabus.

Close examination of comments by students reveals opportunities for further improvements. For example, one respondent to the group interview expressed that *“Hybrid and online classes are difficult to hear the professor and are also very difficult to participate in when attending from home. Some professors use a clip-on microphone, which is easy to hear, but others just use the built-in microphone on their laptops, which is very difficult to hear, rendering the class a little useless.”* Accordingly, it is also reported that *“all students agreed that online classes are very one-way lecturing, with nearly no interaction. Zoom students could not participate in activities or with asking questions. This means remote students cannot learn as well..... Purely online classes are not good.”* Given that IMC courses are regulated to be offered in an in-person format, we should inform current as well as prospective students that IMC courses should be offered in an in-person format, while hyflex (or on-line) format is offered only as an exception. As for those exceptional cases in which courses are offered in a hyflex format, instructors should be advised to make sure that on-line participants feel closely involved in class discussions.

Below, we discuss students’ evaluation results by three layers of our courses, i.e., Core, Basic, and Advanced courses.

Table 5-3: Results of Core course evaluation by students for AY2025 (as compared to preceding three years, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.49	4.51	4.61	4.37	4.51	4.50	4.42	4.51	4.52	4.39	4.38	4.38	4.35	4.45	4.29	4.38
	2023	4.55	4.63	4.68	4.46	4.50	4.40	4.63	4.58	4.40	4.43	4.57	4.28	4.38	4.35	4.03	4.29
	2024	4.59	4.60	4.67	4.46	4.66	4.56	4.54	4.45	4.64	4.50	4.48	4.46	4.47	4.51	4.45	4.45
	2025	4.61	4.64	4.74	4.49	4.68	4.58	4.48	4.51	4.60	4.52	4.46	4.42	4.55	4.54	4.18	4.39
Fall semester	2022	4.49	4.56	4.63	4.32	4.44	4.46	4.39	4.44	4.27	4.39	4.39	4.39	4.37	4.21	4.35	
	2023	4.66	4.75	4.75	4.53	4.71	4.62	4.43	4.60	4.67	4.62	4.51	4.45	4.64	4.43	4.20	4.44
	2024	4.58	4.57	4.65	4.39	4.44	4.30	4.47	4.37	4.58	4.12	4.04	4.11	4.35	4.26	4.00	4.05
	2025	4.66	4.77	4.75	4.74	4.75	4.66	4.64	4.67	4.72	4.70	4.68	4.62	4.62	4.64	4.81	4.81
Whole year	2022	4.49	4.52	4.62	4.35	4.48	4.49	4.41	4.50	4.49	4.35	4.38	4.38	4.37	4.42	4.26	4.37
	2023	4.61	4.70	4.72	4.50	4.62	4.53	4.52	4.59	4.55	4.54	4.53	4.38	4.53	4.40	4.13	4.37
	2024	4.58	4.59	4.66	4.43	4.57	4.46	4.51	4.42	4.61	4.35	4.31	4.32	4.42	4.41	4.29	4.30
	2025	4.63	4.70	4.75	4.61	4.72	4.62	4.55	4.58	4.66	4.60	4.57	4.51	4.58	4.59	4.46	4.58

Table 5-4: Results of Basic course evaluation by students for AY2025 (as compared to preceding three years, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.63	4.74	4.74	4.52	4.66	4.57	4.51	4.60	4.57	4.60	4.49	4.52	4.51	4.52	4.55	4.48
	2023	4.70	4.72	4.81	4.64	4.64	4.53	4.43	4.61	4.60	4.66	4.62	4.66	4.57	4.68	4.67	4.73
	2024	4.71	4.74	4.77	4.64	4.71	4.72	4.56	4.65	4.66	4.65	4.59	4.62	4.62	4.60	4.41	4.49
	2025	4.66	4.68	4.64	4.53	4.57	4.60	4.56	4.54	4.63	4.57	4.52	4.53	4.54	4.53	4.41	4.44
Fall semester	2022	4.66	4.79	4.75	4.43	4.67	4.54	4.35	4.46	4.60	4.55	4.49	4.51	4.49	4.58	4.34	4.38
	2023	4.69	4.71	4.78	4.50	4.78	4.58	4.36	4.51	4.67	4.56	4.64	4.60	4.60	4.61	4.35	4.47
	2024	4.63	4.61	4.67	4.55	4.60	4.57	4.43	4.55	4.61	4.50	4.60	4.47	4.48	4.51	4.44	4.48
	2025	4.67	4.73	4.64	4.60	4.65	4.63	4.27	4.54	4.69	4.67	4.65	4.60	4.50	4.58	4.54	4.65
Whole year	2022	4.65	4.77	4.75	4.47	4.67	4.55	4.41	4.52	4.59	4.57	4.49	4.51	4.50	4.56	4.43	4.43
	2023	4.70	4.72	4.79	4.57	4.71	4.55	4.39	4.56	4.63	4.61	4.63	4.63	4.59	4.65	4.52	4.61
	2024	4.66	4.68	4.72	4.59	4.66	4.64	4.49	4.60	4.64	4.57	4.59	4.54	4.55	4.55	4.42	4.48
	2025	4.66	4.70	4.64	4.57	4.61	4.62	4.42	4.54	4.66	4.62	4.58	4.56	4.52	4.55	4.47	4.53

Table 5-5: Results of Advanced course evaluation by students for AY2025 (as compared to preceding three years, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.80	4.85	4.86	4.75	4.85	4.83	4.82	4.82	4.81	4.72	4.66	4.76	4.82	4.80	4.81	4.74
	2023	4.77	4.78	4.81	4.69	4.77	4.65	4.63	4.70	4.68	4.69	4.67	4.70	4.70	4.62	4.48	4.57
	2024	4.58	4.66	4.66	4.51	4.68	4.58	4.49	4.49	4.65	4.39	4.54	4.59	4.67	4.61	4.13	4.46
	2025	4.64	4.63	4.71	4.60	4.73	4.72	4.61	4.55	4.70	4.59	4.52	4.55	4.53	4.58	4.54	4.55
Fall semester	2022	4.76	4.77	4.74	4.62	4.60	4.68	4.66	4.70	4.67	4.70	4.69	4.68	4.71	4.68	4.73	4.73
	2023	4.54	4.63	4.65	4.36	4.63	4.57	4.55	4.48	4.47	4.49	4.44	4.53	4.51	4.58	4.40	4.38
	2024	4.62	4.59	4.64	4.50	4.64	4.57	4.60	4.55	4.60	4.56	4.57	4.51	4.56	4.53	4.43	4.46
	2025	4.75	4.77	4.79	4.62	4.66	4.62	4.64	4.72	4.71	4.65	4.58	4.60	4.67	4.63	4.54	4.56
Whole year	2022	4.78	4.81	4.81	4.69	4.73	4.76	4.74	4.76	4.74	4.71	4.67	4.72	4.77	4.74	4.78	4.73
	2023	4.67	4.71	4.73	4.54	4.71	4.61	4.59	4.60	4.59	4.60	4.57	4.62	4.61	4.60	4.45	4.49
	2024	4.61	4.62	4.65	4.51	4.66	4.58	4.56	4.62	4.49	4.56	4.54	4.60	4.56	4.56	4.30	4.46
	2025	4.70	4.70	4.75	4.61	4.69	4.67	4.63	4.64	4.70	4.62	4.55	4.58	4.60	4.61	4.54	4.56

As is shown in Table 5-3, Core courses show improvements in all 16 question items. In particular, the averaged scores for three questions items show noticeable improvements, including Q10 “*You prepared and reviewed proactively for the course*” (0.26 points), Q11 “*You studied a reference that the instructor suggested*” (0.26 points), as well as in Q17 “*The instructor was proficient in teaching online*” (0.27 points). Improvements made in AY2025 are certainly encouraging, and further efforts should be made to raise students’ satisfaction up to the level of overall average.

Table 5-4 reveals that Basic courses suffered from declines in nine question items out of 16. In terms of the comparison against the overall average, Basic courses are evaluated less favorably for 12 out of 16 question items, thereby offsetting improvements in Core and Advanced courses. Declines are salient in three question items, including Q3: “*The instructor’s knowledge level was high enough to teach the course*” (0.08 points), Q7: “*The amount of work assigned was reasonable*” (0.08 points), as well as in Q8: “*The course was well organized in terms*

of contents and time allocation” (0.06 points). As for the Q3: “The instructor’s knowledge level was high enough to teach the course,” we received many critical comments from students on English proficiency of instructors as was discussed above. All respondents of the group interview even “agree that IMC should improve its standards for hiring professors. Some Japanese professors had very low English.” It is no less significant to address declining average scores for Q8: “The course was well organized in terms of contents and time allocation.” It is imperative to accept these candid feedbacks from the students, and properly respond to it in AY2026.

As for Advanced courses, 14 question items (out of 16) show improvements in the averaged scores from AY2024 (Table 5-5). Advanced courses are compared more favorably against the overall average for all question items (except for Q11). Advanced courses are the major driver of overall satisfaction. Given that satisfaction with courses of highly advanced learning contents may strongly influence overall satisfaction with IMC program as a whole, it is important to maintain (and possibly raise) this level of satisfaction.

Below is the analysis of evaluation scores for each course (Tables 5-6 to 5-8). It is regrettable to report that counts (as well as the list) of courses with the average score of less than 4.0 for Q13: “Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students” (as an indicator of overall satisfaction with the course) remain almost unchanged from those of AY2024.

Table 5-6: Results of Core course evaluation by students for AY2025 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
Management	2	19	4.93	4.87	4.93
English Communication	1	19	4.58	4.84	4.79
Accounting for Decision Making	1	11	4.70	4.80	4.90
English Communication	2	13	4.33	4.78	4.33
Management	1	14	4.64	4.64	4.64
Accounting for Decision Making	2	8	4.57	4.57	4.29
Business Ethics	1	11	4.36	4.55	4.55
Business Ethics	2	21	4.56	4.50	4.78
Statistics	2	16	4.55	4.36	4.50
Statistics	1	15	4.15	4.23	4.15
Business Economics		26	2.00	2.00	2.00

Table 5-7: Results of Basic course evaluation by students for AY2025 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
Financial Reporting and Analysis	2	3	5.00	5.00	5.00
Advanced English for Business Practice		11	4.83	5.00	4.71
Cost and Management Accounting		14	4.83	4.92	4.83
Corporate Finance	2	8	4.86	4.86	4.86
Marketing Management	1	11	4.80	4.80	4.80
Financial Reporting and Analysis	1	11	4.63	4.75	4.63
Advanced English for Business Studies		4	4.50	4.75	4.75
Corporate Strategy		27	4.72	4.72	4.72
International Management	2	18	4.80	4.60	4.70
Corporate Finance	1	11	4.44	4.56	4.33
Principles of Finance	1	12	4.55	4.55	4.64
International Management	1	9	4.50	4.50	4.67
Designing Organizational Systems		23	4.33	4.42	4.50
Marketing Strategy		29	4.30	4.20	4.20
Leadership and Corporate Renewal		24	4.47	4.20	4.53
Principles of Finance	2	8	4.29	4.14	4.14
Marketing Management	2	11	4.33	3.67	4.00

Table 5-8: Results of Advanced course evaluation by students for AY2025 (shown for each course, scores averaged

over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
Human Resource Management		26	4.86	5.00	5.00
Information Management for Decision Making		4	5.00	5.00	5.00
Sustainability Management & Accounting		7	5.00	5.00	4.80
Group Research Project	4	6	4.50	5.00	5.00
Individual Research	9	3	5.00	5.00	5.00
Individual Research	15	2	5.00	5.00	5.00
Financial Risk Management		5	4.80	5.00	5.00
Lasting Brands: Insights for Family-led Businesses		5	5.00	5.00	5.00
Group Research Project	5	3	4.33	5.00	5.00
Group Research Project	7	10	5.00	5.00	5.00
Individual Research	2	2	5.00	5.00	5.00
Individual Research	4	3	5.00	5.00	5.00
Individual Research	6	3	5.00	5.00	5.00
Individual Research	10	2	5.00	5.00	5.00
Individual Research	16	2	4.00	5.00	4.00
Individual Research	18	2	5.00	5.00	5.00
Product Innovation		17	4.80	4.87	4.87
SME Finance		7	4.86	4.86	4.86
Group Research Project	3	6	4.83	4.83	4.83
Consumer Behavior		10	4.83	4.83	4.67
Financial Institutions Management		18	4.57	4.79	4.71
Marketing and Sustainability		10	4.50	4.75	4.75
Individual Research	3	4	4.50	4.75	4.50
Group Research Project	2	4	4.75	4.75	4.75
Technology Management		29	4.60	4.73	4.60
Advanced Topics in Business I		12	4.73	4.73	4.55
Business Negotiation		7	4.71	4.71	4.86
International Finance		13	4.70	4.70	4.80
Individual Research	5	3	5.00	4.67	4.67
Cross-Cultural Management	2	19	4.67	4.67	4.75
Family Business Management		10	4.50	4.67	4.67
New Global Venture Creation		20	4.47	4.65	4.47
International Marketing Practice		14	4.64	4.64	4.82
Marketing Research		8	4.75	4.63	4.75
International Economic Integration		13	4.60	4.60	4.60
Advanced Topics in Business F		9	4.60	4.60	4.60
Advanced Topics in Business H		10	4.50	4.60	4.60
Brand Management		8	4.50	4.50	4.25
Marketing Communication		4	4.25	4.50	4.25
Advanced Topics in Business C		9	4.50	4.50	4.50
Cross-Cultural Management	1	22	4.50	4.46	4.43
Asian Financial Market		12	4.50	4.43	4.38
Management Information Systems		33	4.29	4.43	4.29
Group Research Project	6	6	4.67	4.33	4.33
Group Research Project	1	3	4.00	4.33	4.00
Corporate Restructuring		20	4.21	4.29	4.36
Advanced Topics in Business E		12	4.11	4.22	4.33
Accounting Theory and Practice		6	4.20	4.20	4.20
Portfolio Management		5	5.00	4.00	4.67
Advanced Topics in Business D		8	4.20	4.00	4.60
Organizational Behavior		11	4.10	3.30	4.00

B. Self-evaluation by instructors

As for the self-evaluation by instructors, results show overwhelmingly favorable evaluation. For all questions except for the Q5, more than 90% instructors responded positively by responding with either “Strongly agree” or “Agree.”

Some negative responses, including “Strongly disagree” and “Disagree,” are observed for 3% of respondents to Q5 “*Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course*” (3%), Q6: “*Overall, you are satisfied with the course*” (2%), Q7: “*Course content were highly relevant and useful for students’ future career*” (1%), and Q9 “*Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1 –8 questions*” (2%). As far as instructors’ self-evaluation is concerned, the results indicate that instructors feel all courses were offered in a satisfactory manner for AY2025.

However, closer examination of more detailed distribution of responses reveals that increases in “Strong Agree” are outweighed by decreases in “Agree” for most items. Specifically, 1 “*The course met the objectives and topics described in the syllabus*” ; 79% in AY2025 (compared to 71% in AY2024) for “Strongly agree” and 18% in AY2025 (compared to 26% in AY2024) for “Agree”, 2 “*You encouraged students comment and discussion*”; 82% (78%) and 14% (20%), 3 “*Your interest in whether students learned was high*”: 77% (71%) and 17% (26%), 4 “*You answered students’ questions clearly and sufficiently*”; 74% (74%) and 18% (24%), 5 “*Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course*” ; 68% (56%) and 21% (34%), 6 “*Overall, you are satisfied with the course*”; 68% (61%) and 22% (30%), 7 “*Course content were highly relevant and useful for students’ future career*”; 69% (59%) and 21% (34%), 9 “*Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1 –8 questions*”; 71% (63%) and 21% (25%).

It is encouraging that most instructors are satisfied with their courses. Our major agenda for AY2025 will be maintaining this high level of satisfaction.

6. 会計専門職専攻

A. 学生による授業評価

(1) 概要

学生による授業評価アンケートは、【設問 1】から【設問 9】が「教員の授業内容と方法」について、【設問 10】と【設問 11】が「学生自身の取組み」について、【設問 12】から【設問 15】が「授業の満足度」について、そして【設問 16】と【設問 17】が「オンライン授業」について問うものである。各設問の平均値（小数点第 2 位で四捨五入）は、次のとおりであった。

表 6－1：各設問の平均値

番号	設問文	2024年度春学期		2024年度秋学期		2025年度春学期		2025年度秋学期	
		第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q
1	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に十分沿っていましたか。	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9
2	教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか。	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
3	教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。	4.9	4.9	5.0	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9
4	授業で指定された教科書や配布された資料は、学習の助けとなりましたか。	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8
5	教員は学生が発言したり議論することに十分な配慮を払いましたか。	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8
6	教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8
7	この授業で与えられる課題の量は適正なものでしたか。	4.7	4.6	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8
8	授業の内容と時間配分は適正なものでしたか。	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8
9	教員は学生の質問に丁寧に答えていましたか。	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9
10	この授業を受けるに当たって予習や復習を積極的に行いましたか。	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7
11	この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか。	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.5	4.7	4.5
12	この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか。	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8
13	*この授業は全般的に満足のいくものでしたか。	4.7	4.7	4.9	4.8	4.8	4.6	4.8	4.8
14	この授業は今後の学習にとって有意義なものですか。	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8
15	この授業は仕事に役立ちそうですか。	4.7	4.7	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8
16	【該当する場合にお答えください。】 この授業はオンラインで受講することに問題はなかった。	4.6	4.7	4.9	4.8	4.6	4.6	4.8	4.7
17	【該当する場合にお答えください。】 教員はオンラインでの授業に習熟していた。	4.6	4.7	4.9	4.9	4.6	4.6	4.8	4.7

注 Q：クォーター

コロナ禍により、2020 年度と 2021 年度はオンライン授業であったが、2022 年度から、対面授業が再開された。そして 2023 年度からは、原則として対面授業となり、特に理由が無い限り、学生も対面での参加が義務付けられた。ただし、主に平日夜や日曜日の時間帯の授業において、教員がオンラインでも対面と同等の教育効果があると判断した一部の授業では、オンライン授業が行われている。

また、これまでのオンライン授業の経験を踏まえ、授業を Zoom で録画し、受講生が授業の復習用や、欠席した時のキャッチアップ用（ただし視聴しても出席扱いにはならない）に視聴できるようにしている。

2025 年度は、全体として 2024 年度とほとんど同じである。例年の全般的な傾向として、春学期（第 1 クォーター、第 2 クォーター）は秋学期（第 3 クォーター、第 4 クォーター）より、評価が低めに出やすいようである。これは、1 年目の学生にとっては初めての履修になるので、授業の難易度がよく分からず、自分の現在の知識水準を超える難易度の授業を履修してしまうことが原因と考えられる。2025 年度は、第 2 クォーターがやや低いものの、第 1 クォーターは比較的高めであり、2024 年度ほど明確な

差は見られなかった。これは、シラバスなどを通じて、各授業の履修にあたって求められる予備知識の水準を知らせる取り組みが一定程度浸透したからと思われる。ただし、現在でもいくつかの授業では、「教員による担当科目自己評価」において、依然として「能力・予備知識・理解度の低い学生への対応」に苦慮している旨が回答されており、引き続き取り組みを継続することが必要である

（２）全体評価～専攻平均値～

専攻平均値は、すべての設問の評点を平均したもの（小数点第二位で四捨五入）である。会計専門職専攻が開設された 2005 年度から現在までの推移は、次のとおりである。

表 6－2：専攻平均値の推移

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
春学期	3.9	4.2	4.3	4.4	4.3
秋学期	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
春学期	4.3	4.3	4.6	4.6	4.7
秋学期	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
春学期	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6
秋学期	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
春学期	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
秋学期	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
	2025年度				
春学期	4.7				
秋学期	4.8				

専攻平均値は、2007 年度秋学期まで上昇し続けた後、2008 年度から 2011 年度までは 4.3 から 4.5 という値を記録してきた。2012 年度以降は、4.5 以上を保ち続けている。このように近年は、総合的な評価としては高位での安定が図られているものと言ってよいであろう。また、2020 年度はコロナ禍により急遽、授業がオンラインに変更されたが、全体としては概ね例年と同水準を維持する結果となった。さらに、オンライン授業 2 年目となった 2021 年度は、2020 年度よりも改善し、春学期も秋学期も 4.7 と、高い評価となった。さらに、対面授業が再開された 2022 年度は、春学期 4.7、秋学期 4.8 と、なお一層高い評価となっており、2025 年度までこの高い評価を維持している。

(3) 個別評価

① 教員の授業内容と方法 (【設問1】～【設問9】)

表6-3:【設問1】から【設問9】の平均値

年度	学期	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
(専攻全体)										
2017	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7
2017	秋	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.7
2018	春	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6
2018	秋	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6
2019	春	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
2019	秋	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
2020	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6
2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2021	春	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
2021	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2022	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
2023	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2023	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8
2024	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8
2024	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9
2025	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
2025	秋	4.9	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.9
(コア科目)										
2017	春	4.8	4.8	4.9	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6
2017	秋	4.7	4.6	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5
2018	春	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
2018	秋	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5
2019	春	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
2019	秋	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
2020	春	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6
2020	秋	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7
2021	春	4.8	4.9	5.0	4.8	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8
2021	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022	春	4.8	4.7	4.8	4.7	4.5	4.3	4.6	4.6	4.8
2022	秋	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7
2023	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7
2023	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8
2024	春	4.9	4.8	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8
2024	秋	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.9
2025	春	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2025	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.8

年度	学期	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
(ベーシック科目)										
2017	春	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.9
2017	秋	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7
2018	春	4.8	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2018	秋	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
2019	春	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7
2019	秋	4.7	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2020	春	4.7	4.7	4.8	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5
2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2021	春	4.7	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8
2021	秋	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.6	4.7	4.8	4.8
2022	春	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
2023	春	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
2023	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
2024	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.9
2024	秋	5.0	4.9	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9
2025	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.9
2025	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
(アドバンスト科目)										
2017	春	4.8	4.7	4.9	4.6	4.9	4.7	4.5	4.6	4.9
2017	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8
2018	春	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.7
2018	秋	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7
2019	春	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8
2019	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.9
2020	春	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
2021	春	4.8	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.9
2021	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8
2022	春	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0
2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	5.0
2023	春	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.9
2023	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9
2024	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
2024	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9
2025	春	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9
2025	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.9

オンライン授業2年目の2021年度から始めた取り組みとして、学生の利便性向上のため、Zoomの機能を利用して、授業の動画を録画し、受講生に公開することにした。これにより、学生は復習が容易になり、また欠席してしまった学生も、授業にキャッチアップできるようになった。この取り組みは継続しており、多くの学生が利用している。2025年度は、2024年度よりは全体的にやや評価が減少したものの、ここ数年は比較的高い評価が継続している。

② 学生自身の取組み（【設問 10】・【設問 11】）

「学生自身の取組み」を問う【設問 10】と【設問 11】は、昨年度と概ね同じ評価となっている。

表 6－4：【設問 10】から【設問 17】の平均値

年度	学期	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
(専攻全体)								
2017	春	4.3	4.1	4.4	4.6	4.7	—	—
2017	秋	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6	—	—
2018	春	4.3	4.3	4.4	4.5	4.6	—	—
2018	秋	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019	春	4.5	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019	秋	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020	春	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	—	—
2020	秋	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	—	—
2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7
2021	秋	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
2022	秋	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
2023	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
2023	秋	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
2024	春	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.7
2024	秋	4.7	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9
2025	春	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6
2025	秋	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
(コア科目)								
2017	春	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	—	—
2017	秋	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5	—	—
2018	春	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	—	—
2018	秋	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5	—	—
2019	春	4.5	4.3	4.4	4.6	4.7	—	—
2019	秋	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	—	—
2020	春	4.5	4.3	4.4	4.5	4.7	—	—
2020	秋	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	—	—
2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2021	秋	4.5	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022	春	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4
2022	秋	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.8	4.8
2023	春	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6
2023	秋	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5	4.6
2024	春	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.5	4.6
2024	秋	4.7	4.6	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9
2025	春	4.7	4.5	4.6	4.7	4.7	4.5	4.5
2025	秋	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6

年度	学期	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
(ベーシック科目)								
2017	春	4.4	4.3	4.5	4.8	4.8	—	—
2017	秋	4.3	4.2	4.5	4.6	4.7	—	—
2018	春	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7	—	—
2018	秋	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	春	4.5	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	秋	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020	春	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2020	秋	4.4	4.3	4.5	4.7	4.8	—	—
2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5
2021	秋	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.8
2022	春	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.8
2022	秋	4.6	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	4.9
2023	春	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2023	秋	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
2024	春	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7
2024	秋	4.8	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2025	春	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
2025	秋	4.7	4.6	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8
(アドバンスト科目)								
2017	春	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	—	—
2017	秋	4.1	4.0	4.5	4.7	4.7	—	—
2018	春	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2018	秋	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	春	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019	秋	4.6	4.5	4.7	4.8	4.8	—	—
2020	春	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8	—	—
2020	秋	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	—	—
2021	春	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8
2021	秋	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8
2022	春	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2022	秋	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2023	春	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0
2023	秋	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
2024	春	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
2024	秋	4.7	4.8	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9
2025	春	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9
2025	秋	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8

③ 授業の満足度（【設問 12】～【設問 14】）

【設問 12】～【設問 14】の評価は、授業に対する評価の結論的指標となるものである。専攻全体で見ると、【設問 12】～【設問 14】の 2025 年度の評点は概ね昨年度と変わらず良好な結果となっている。

この授業評価アンケートは、これまでは対面授業の最終週の授業時間内で、マークシートで実施してきたため、最終週の授業に出席していた学生はほぼ全員、回答していた。しかし、コロナ禍によりオンライン授業へと切り替わった 2020 年度から、授業時間外に学生個々人がオンラインで回答するように変更された。このため、最終週の授業に出席していない学生も回答できるようになった反面、授業に出席している学生が必ずしも回答してくれるとは限らなくなってしまった。オンラインアンケート実施 1 年目の 2020 年度は、全体で回答率（＝回答者数／履修者数）は 70%であったが、2021 年度は 57%、2022 年度は 59%、2023 年度は 64%、2024 年度は 62%、そして 2025 年度は 71%と、2025 年度に大幅な改善を示した。コロナ禍直前の 2019 年度は 87%であったので、いまだ十分とはいえない水準にとどまっているものの、改善傾向にあるといえる。

回答率が改善している要因として考えられるのは、最終週の授業時間内にアンケート回答の時間を確

保したこと（2022年度から、学生が所有しているスマートフォンでアンケートサイトにアクセスして回答する形式で実施するようになった）、また、アンケートに回答するよう、教員や事務職員を通じて頻繁に働きかけを行った成果であろう。引き続き、回答率の改善に取り組みたい。

B. 教員による担当科目自己評価

2019年度から、教員の担当科目自己評価はオンラインで実施されることになり、それに伴い、質問事項も大幅に変更された。2025年度の設問は次のとおりである。

<選択回答>

【設問】 1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。 2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。 3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。 4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。 5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。 6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。 7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。 8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。（複数選択可） 9. 上記1～8の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。 10. 授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか。		
--	--	--

【設問8】【設問10】以外の 回答の選択肢	【設問8】の 回答の選択肢	【設問10】の 回答の選択肢
●5：そう思う ●4：だいたいそう思う ●3：どちらとも言えない ●2：あまりそう思わない ●1：そう思わない ●NA：該当しない から一つを選択。	●学生の理論の理解を促す ●学生の思考力の向上を図る ●学生の学習への自発性を促す ●学習内容の理解の定着を図る ●学生間の相互学習を促す授業運営 ●学習内容の実務への応用性 ●理論と実践のバランスを考えた授業の構成 ●その他 から該当するものを選択。 （複数選択可）	●はい ●いいえ から一つを選択。

<記述回答>

1. この科目において、実施してよかった点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。 2. この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。
--

<選択回答>の回答数は次のとおりであった。

表6－5：教員による担当科目自己評価（2025年度）＜選択回答＞

（専攻全体）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（ベーシック科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	90	75	61	93	49	53	83	60	5そう思う	33	27	23	33	18	17	31	21
4だいたいそう思う	47	47	60	39	71	69	46	69	4だいたいそう思う	13	13	18	11	26	26	13	23
3どちらとも言えない	1	5	18	2	17	16	10	9	3どちらとも言えない	0	1	5	0	2	3	2	2
2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	1	2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1そう思わない	1	2	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	1	11	1	6	3	1	1	1	NA該当しない	1	5	1	3	1	1	1	1
合計	140	140	140	140	140	140	140	140	合計	47	47	47	47	47	47	47	47
平均値	4.6	4.5	4.3	4.7	4.2	4.3	4.5	4.4	平均値	4.7	4.5	4.4	4.8	4.3	4.3	4.6	4.4
昨年度平均値	4.7	4.5	4.2	4.7	4.2	4.2	4.5	4.4	昨年度平均値	4.8	4.5	4.2	4.7	4.3	4.2	4.6	4.4

（コア科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（アドバンスト科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	27	16	10	27	8	9	23	14	5そう思う	30	32	28	33	23	27	29	25
4だいたいそう思う	17	20	25	14	27	27	21	25	4だいたいそう思う	17	14	17	14	18	16	12	21
3どちらとも言えない	0	1	9	1	7	8	0	5	3どちらとも言えない	1	3	4	1	8	5	8	2
2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	1
1そう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	0	6	0	2	2	0	0	0	NA該当しない	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	44	44	44	44	44	44	44	44	合計	49	49	49	49	49	49	49	49
平均値	4.6	4.3	4.0	4.6	4.0	4.0	4.5	4.2	平均値	4.5	4.6	4.5	4.7	4.3	4.4	4.4	4.4
昨年度平均値	4.8	4.3	4.0	4.7	4.0	4.2	4.4	4.3	昨年度平均値	4.7	4.7	4.5	4.8	4.3	4.3	4.6	4.5

設問8（選択割合）	専攻全体	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
学生の理論の理解を促す	64%	77%	60%	55%
学生の思考力の向上を図る	58%	43%	60%	69%
学生の学習への自発性を促す	50%	45%	57%	47%
学習内容の理解の定着を図る	56%	61%	57%	51%
学生間の相互学習を促す授業運営	19%	9%	28%	18%
学習内容の実務への応用性	42%	25%	49%	51%
理論と実践のバランスを考えた授業の構成	36%	16%	47%	45%
その他	4%	5%	4%	2%

（注）設問8は複数回答が可能なため、割合の合計は100%にならない。

例年、コア科目からアドバンスト科目になるにつれて自己評価も高くなる傾向にあるが、今年度も、その傾向のとおりととなっている。また、コア科目では理論的な理解を重視しており、対照的に、ベーシック科目・アドバンスト科目では、実務的な内容、より高度な思考力の育成、学生の自主的な学びの促進、などが重視されている。

また、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンライン（学生が所有しているスマートフォンでアンケートサイトにアクセスして回答する形式）で実施するようになったことで、回答率が低下した。この問題の改善を促すため、2023年度より、教員への質問事項において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加した。回答数は次のとおりであった。

設問10（選択割合）	2023	2024	2025
はい	58%	67%	66%
いいえ	42%	33%	34%

授業中にアンケートを実施することはアンケート回収率を改善する有力な方法である。しかし、2023年度は設問10に「はい」と回答した教員が58%で、その年度の学生の回答率が64%であったのに対し、2024年度は設問10に「はい」と回答した教員が67%と増加したにもかかわらず、その年度の学生の回答率は62%とやや減少してしまった。そして2025年度は設問10に「はい」と回答した教員が66%とほぼ横ばいだったのにもかかわらず、回答率は71%と大幅に増加した。

これは、授業中にアンケートを実施するかしないかは、もしかすると回答率にそれほど影響を与えていないのかもしれない。来年度以降も、授業中にアンケートを実施する取り組みは続けていく予定であるが、学生の回答率に留意し、学生の回答率を上げる有効な方策も検討すべきであろう。

＜記述回答＞では、【記述設問1】この科目において、実施してよかった点は何ですか、【記述設問2】この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか、を自由記述形式で回答してもらっている。自由記述形式なのは、教員の自由な意見を集めるためである。

各設問に対する回答の全体的な傾向を把握するために回答内容を分類し、これに基づいて分析を行っている。ただし、次のような制約、限界がある点に留意されたい。まず、分類にあたっては回答の文言よりもその趣旨に基づいているが、各設問の回答は自由記述形式であるため、その判断が主観的なものとならざるを得ない部分がある。回答が少ない項目は、表には含めていない。そして、単一の授業で複数の項目を回答している場合は、特に重要と思われる2、3程度の項目に限定して集計している。また複数回答している授業があるため、回答率の合計は100%にならない。

【記述設問1】担当科目において実施してよかった点

担当科目において実施してよかった点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表6-6：担当科目において実施してよかった点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
小テスト・中間テスト	29%	11%	5%
宿題・レポートなどの課題	24%	16%	—
事前学習（予習）を促す仕組み	5%	3%	—
要点を得た・詳細な・充実したレジュメ・配布資料の作成	5%	8%	—
授業内容を（シラバス、LUNAや授業内アナウンスで）明確にしたこと	—	3%	4%
質問への丁寧な回答	5%	5%	—
基礎知識や重要論点の確認等を踏まえた丁寧な授業、学生の理解度に応じた授業の実施	7%	8%	11%
取り扱うテーマの適切な選択	2%	2%	11%
事例・実務に則した授業（ゲストスピーカーやケーススタディの工夫も含む）	5%	10%	11%
理論解説、実務解説、問題演習などのバランスの工夫	7%	8%	4%
丁寧・積極的な実習活動の実施	2%	3%	2%
テスト・課題に対する教員からのフィードバック	8%	10%	12%
学生による課題発表、プレゼンテーション、ディスカッション	—	2%	18%
教員と学生間の質疑応答といった双方向な授業の実践	—	5%	12%
グループワーク、グループディスカッション、学生間の協働作業	—	3%	5%
その他	2%	3%	7%

例年、コア科目やベーシック科目では、「小テスト・中間テスト」や「宿題・レポートなどの課題」を挙げることが多い。これにより、学生の理解度を確認しながら、また自主学習を促しているようである。そして、「アドバンスト科目」では、演習形式の授業が増えるためか、学生のプレゼンテーションや、双方向的な授業が指向されている。

【記述設問 2】担当科目について改善・工夫をした方がよい点

担当科目について改善・工夫をした方がよい点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 6－7：改善・工夫をした方がよい点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
レジュメ・テキスト・配布資料等の教材の改善	13%	8%	4%
講義（解説）・演習などの時間配分	2%	2%	2%
学部からの進学生、社会人学生、留学生、会計士受験希望、就職希望など、多様な属性の学生への対応	4%	6%	2%
能力・予備知識・理解度の低い学生への対応	11%	2%	11%
授業意欲の低い学生への対応	2%	6%	4%
説明の仕方を工夫する	9%	2%	2%
双方向な授業の導入・増やす取組み、積極的な授業参加を促す取組み	2%	12%	2%
（予習・復習などの）学生による自発的学習の促進	7%	8%	2%
授業で扱うトピックの選定、及び質と量のバランス	2%	8%	11%
実践的で、実務で使える内容を増やす	—	4%	2%
演習問題や課題の内容の改善	4%	2%	4%
小テストや課題などの実施、または量の改善	4%	—	—
留学生の語学能力の差への対応を図る	2%	2%	—
ディスカッションやプレゼンテーションを実施する・増やす	7%	8%	9%
受講生が多すぎる	—	—	4%
ハイフレックスやフルオンライン授業の改善	2%	2%	4%
授業評価アンケートに回答させる	2%	4%	—
その他	7%	12%	15%
特になし	18%	12%	20%

コア科目とアドバンスト科目では、「能力・予備知識・理解度の低い学生への対応」の回答が多い。これは、コア科目ではその分野の知識の浅い学生が来ること、及びアドバンスト科目では実務の事を知らない学生が受講してくることが原因と考えられる。

7. 今後の課題 (Issues to be resolved)

A. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

本コースの分析からは、学生の授業満足度をめぐって二つのことが明らかになった。一つは、学生評価において、教員の準備（学生設問 2）、個々の理解度への配慮（学生設問 6）、教材の活用（学生設問 4）といった働きかけが満足度と強く関連していたことである。もう一つは、教員自己評価と学生満足度がほぼ無相関であり、教員の手応えが必ずしも学生の満足に結びついていなかったことである。すなわち、学生が実感できる形での働きかけは満足度を高める一方、教員自身の主観的な手応えは、それを保証しない。これらを踏まえ、今後の課題は二つに整理できる。

第一に、学生満足度に結びつく授業設計・運営上の働きかけを、組織的に底上げすることである。有意であった準備・理解度への配慮・教材の活用は、いずれも教員の働きかけによって改善しうる要素であり、これらの実践例を FD 研修などを通じて教員間で共有し、授業の質を全体として高めていくことが有効であろう。

第二に、教員の認識と学生の評価との乖離を縮めることである。教員が意図した設計や運営が学生の理解・納得につながっているかは、自己評価だけでは判断しにくい。両者の乖離が大きい授業を対象に、教員の意図した教材・説明・進め方が学生にどう受け止められているかを、授業単位で点検することが求められる。全体的な設計技術の共有と個別授業の点検とを組み合わせ、教員の意図と学生の学習経験とのずれを縮める改善サイクルを築くことが、次年度の重点となる。

B. Business School, International Management Course

(経営戦略専攻国際経営コース)

For AY2025, courses offered at IMC are generally favorably evaluated by both students and instructors. Comparison against preceding three years shows improvement in evaluation scores by students, particularly in Core and Advanced courses. Maintaining this favorable evaluation scores of Core and Advanced courses, as well as addressing declines in Basic courses, should be the most critical challenge for AY2025.

Firstly, students' dissatisfaction with instructors' teaching quality, English proficiency in particular, should be seriously addressed. All instructors should reexamine their teaching in terms of their knowledge, class operation, as well as efficacy of contents delivery approaches so that they can ensure satisfaction of students. Courses evaluated as lower than 4.0 for Q13 should also be quickly addressed. Plans for improvement initiatives should be prepared by instructors in charge, which then should be approved by the BS faculty meeting, as well as by the IBA executive team. The implementation of the plan should also be closely monitored. Further raising instructors' awareness of students' dissatisfaction should also be important. One possible change we could consider is to delay the timing of self-evaluation survey by instructors until instructors are shared with results of course evaluation by students (rather than immediately after the quarter, when results of evaluation by students are still unknown). With this change, instructors can leverage their self-evaluation as an opportunity to reflect their course improvement strategy. Group interview results should also be shared with instructors so that instructors can have more opportunities to be informed of real voice of students.

Secondly, we should inform current as well as prospective students that IMC courses are offered in an in-person format (to comply with the government regulation), while hyflex or on-line format are offered only as an exception. It is important that we avoid disappointing students with the wrong expectations that they can complete the program by taking on-line courses only. As we offer majority of the courses in an in-person format, it may not be necessary to keep Q16 and Q17 in the survey. As for those exceptional cases in which courses are offered in a hyflex format, instructors should be advised to make sure that on-line participants feel closely involved in class discussions, by paying attention to small details like using a clip-on microphone.

C. 会計専門職専攻

コロナ禍により突然のオンライン授業を余儀なくされた 2020 年度は、講義形式の授業が多いコア科目の授業評価に著しい悪影響をもたらした。しかし、オンライン授業 2 年目の 2021 年度では、教員がオンライン授業の方法に習熟したこともあり、コア科目も含めて授業評価は大きく持ち直し、全体として例年並みの評価となった。

そして 2022 年度から、本専攻では、オンライン授業の有効性が認められる一部の授業を除き、基本的にすべての授業で対面授業に復帰し、2025 年度もそれは継続されている。また、学生の利便向上のため、対面授業の場合でも、Zoom による授業の録画・学生への提供をしている。これは今後も継続する予定である。

本専攻は、ここ数年は学生数も増加しているが、そのバックグラウンドは多様である。つまり、社会人経験のない学生、社会人学生、留学生など、多様な学生が在籍しており、授業参加前の予備知識にかなりの差が見られる。この問題への対処は困難であり、教員も対応を試みていてそれなりに成果は出ているものの、決して十分とはいえず、引き続き教員による工夫が求められる。特に会計領域に関する学習を展開・発展させるアドバンスト科目群に配置している科目は、授業の運営上教員が必要と判断する場合には、想定される履修者数を上回る場合には次学期以降履修者数の上限を設定したり、当該科目を履修するうえで前提となる別の科目を事前に履修し単位を修得することを求めるなど、何らかの条件をつけることも検討する余地がある。

また、近年は留学生が増えており、特に日本語で大量に文章を記述しなければならない授業科目では、日本語の語学力の差が顕著に出してしまう。ただし、ここ数年は、入試で要求する日本語の水準が上がったこともあり、以前ほど深刻ではないようであるが、この課題が完全に解消されてはいない。引き続き、対応が検討されるべきであろう。

最後に、今後も、回答率を上げる方法を検討すべきである。コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下した。この問題を改善するために、授業時間外に回答するのではなく、原則として最終授業回の授業の終わりに 10 分程度の時間を設けて授業時間内にアンケートに回答してもらうように運用を変更している。回答率の改善の兆候も見られるが、引き続き回答率の改善に取り組みたい。

D. 総評

2025 年度についても対面（「ハイフレックス型」を含む）とオンライン（「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型）で授業の提供を実施した。また、全授業録画及びその提供の方針は継続しており、録画データは出席できなかった場合の学習の補助及び復習に役立てられている。授業の実施形態については、経営戦略専攻企業経営戦略コース（中小企業診断士養成プログラムを除く）では、利便性の向上などを目的にしてハイフレックス授業やフルオンラインで、中小企業診断士養成プログラムは全授業が対面で実施されている。経営戦略専攻国際経営コースと会計専門職専攻では、対面と同様の教育効果があると授業担当者が判断する場合を除いて、対面での授業実施を原則としており、オンライン授業は減少してきている。

企業経営戦略コースでハイフレックス授業やフルオンライン授業や全授業録画は定着してきているが、新任の授業担当者への機器操作サポートは必須である。授業実施期間中は、授業時間帯に教務補佐・教学補佐を配置し、機材操作面で授業のサポートに当たらせている。導入当初のように全教員を対象としたFD研修会は行っていないが、新任あるいは不得手な授業担当者には、職員が各学期、初回授業の前に個別に支援を行っている。機器操作の習熟度は、授業の質に直結するため、この対応を引き続き行う必要があると考えている。

アンケート調査の結果は、概ね肯定的な結果となっているが、引き続き授業内容の充実を図っていく必要がある。幾つかの科目で評価が低下しているが、個々の科目に問題があるのか、その他の要因によるものなのかを分析の上、改善策が講じられることが望まれる。

アンケート回収をオンライン化したことにより、紙媒体で実施していた頃に比して回答率が低下している問題には最終回の授業中に実施したり、授業担当者及びポータルサイトによる働きかけを行うことを通じて、引き続き取り組んでいきたい。また、オンライン化により、学生の授業評価アンケート、教員の自己評価アンケートともに自由記述がデジタル化されたことを受け、これらのデータの分析にも取り組む必要がある。2025 年度からは「教員による担当科目自己評価」のオンライン上での収集方法を変更した。今回初めて経営戦略専攻の 2 コース、会計専門職専攻毎に学生による授業評価と教員による授業評価の突き合わせが可能となった。それぞれの満足度間に相関は無く、明確な関係は見られなかったが、活用方法も含めてこれからの課題となる。

いずれの専攻・コースも、社会人・外国人留学生を含め多様な学生を入学させており、教職員はその対応に多くの努力を払っている。教務補佐・教学補佐の配置も含めた授業サポートのさらなる充実、及び現在行っている施策の評価が望まれる。

以 上

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科

内部質保証委員会

コンビーナー 山本 昭二